

# 1. 九州工業大学情報工学部学修細則

〔平成8年12月18日〕  
九工大細則第8号

(目的)

第1条 この細則は、九州工業大学学則（平成19年九工大学則第1号。以下「学則」という。）第1章第5節（修業年限、在学期間、教育課程、履修方法等）及び第7節（卒業及び学位）に基づき、情報工学部における教育課程の編成、その履修方法、修了の要件、単位の授与等に関し、必要な事項を定めるとともに、学則第29条第4号に規定する除籍を情報工学部において適用する上で必要な事項を定めることを目的とする。

(学習・教育目標)

第2条 情報工学部は、九州工業大学が掲げる「技術に堪能なる士君子の養成」という教育目標を、情報工学の分野において実現するための教育を行う。

- 2 情報工学部は、この教育目標を各々の教育分野において実現するため、第5条第2項及び第3項毎に学習・教育目標を具体的に設定し、広く学内外に公表する。
- 3 情報工学部は、前項により設定する学習・教育目標の達成状況に関して、定期的に点検と評価を行い、その結果を広く学内外に公表する。
- 4 情報工学部は、学部の教育に対する社会の要求や学生の要望を把握するための調査を行い、前項の点検と評価の結果と合わせて、学習・教育目標の見直しを行う。

(教育課程)

第3条 教育課程は、学習・教育目標に基づいて設計し、学習・教育目標を達成するために必要な授業科目を開設する。

- 2 情報工学部は、学部の教育に対する社会の要求や学生の要望に関する調査の結果及び学習・教育目標の達成度に関する点検と評価の結果を踏まえて、教育課程の見直しを行う。

(授業計画)

第4条 授業計画（シラバス）は、情報工学部が開設する各々の授業科目について、各開講年度ごとに作成し、広く学内外に公表する。

- 2 授業計画には、授業の概要、教育課程における位置付け、授業方法、授業時間ごとの内容、達成されるべき目標、成績評価の基準及び方法、教科書等を記載する。
- 3 各授業科目の担当教員（以下「授業担当教員」という。）は、授業計画に基づいて授業を実施し、記載された成績評価の基準及び評価方法により成績評価を行う。
- 4 情報工学部は、授業アンケート等により得られる学生の意見や要望及び学習・教育目標の達成度に関する点検と評価の結果を踏まえて、授業計画の見直しを行う。

(履修課程表)

第5条 情報工学部の教育課程が開設する授業科目は、人間科学科目区分、自然科学科目区分、情報科目区分及び対象分野科目区分の4つの科目区分に分類される。

- 2 人間科学科目区分は、学部共通の教育課程であり、その履修課程表は別表1のⅠに定める。
- 3 自然科学科目区分、情報科目区分及び対象分野科目区分は、各学科が個別に編成する教育課程であり、その履修課程表は、別表1のⅡに定める。
- 4 前2項の規定にかかわらず、3年次編入生のための履修課程表は、別表2に定める。

(授業科目の単位区分及び履修年次)

第6条 教育課程の編成に基づいて、各授業科目を必修科目、選択必修科目及び選択科目の3つの単位区分に分類し、また、各授業科目を1年次から4年次までの各履修年次に配当する。

- 2 学生は、自分が在籍する年次を超える履修年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 学生は、一つの学期に曜日と時限が同一なる授業科目を重複して履修することはできない。

(教育課程の修了要件)

第7条 情報工学部における教育課程を修了するには、4年以上在学(休学及び停学した期間を除く。以下本条及び次条において同じ。)し、第5条に定める履修課程表に従って授業科目を履修し、別表3に定める単位数を修得しなければならない。

- 2 3年次編入生が情報工学部における教育課程を修了するには、2年以上在学し、第5条に定める履修課程に従って授業科目を履修し、別表4に定める単位数を修得しなければならない。
- 3 第1項の規定にかかわらず、別に定める九州工業大学情報工学部における早期卒業取扱要項(平成12年10月25日制定)の早期卒業の要件を満たす場合には、3年以上の在学により情報工学部における教育課程を修了することができる。

(進級の要件)

第8条 学生は、2年次から3年次に進級するためには、2年以上在学し、別表5に定める3年次進級要件を満たさなければならない。

- 2 学生は、3年次から4年次に進級するためには、3年以上在学し、別表5に定める4年次進級要件を満たさなければならない。
- 3 3年次編入生は、4年次に進級するためには、3年次に1年以上在学し、別表6に定める4年次進級要件を満たさなければならない。
- 4 前3項の規定にかかわらず、病気による休学又は留学等の正当な事由があり、かつ、教育上有益であると教務委員会が認める場合には、進級の要件を満たしていない場合であっても、上級年次への進級を許可することができる。

(履修申告)

第9条 学生は、各学期において履修しようとする授業科目について、その学期の履修申告期間内に履修申告を行わなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目については、各授業科目ごとに掲示される履修申告締切り期日までは、履修申告カード(別記様式第1号)を教務係に提出することにより、履修申告を行うことができる。
- 3 正当な事由により、定められた期間内に履修申告又は修正申告を行うことができなかった場合、学生は所属学科の教務委員の許可を得た上で、期間外履修申告カード(別記様式第2号)を教務係に提出することにより、履修申告又は修正申告を行うことができる。

(履修申告の取消し)

第10条 学生は、履修申告した授業科目の履修を取りやめにする場合には、履修申告期間の約1ヵ月後に設定される履修申告取消し期日までに、履修申告取消しカード(別記様式第3号)を教務係に提出することにより、履修申告の取消しを行うことができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目の場合には、各授業科目ごとに掲示される履修申告取消し期日までは、履修申告の取消しを行うことができる。
- 3 正当な事由により、定められた期間内に履修申告の取消しを行うことができなかった場合、学生は所属学科の教務委員の許可を得た上で、履修申告取消しカードを教務係に提出することにより、履修申告の取消しを行うこ

とができる。

(履修申告の制限)

第11条 学生は、既に修得した授業科目並びに第20条及び第21条の規定により単位認定を受けた授業科目については、履修申告を行うことはできない。

2 学生は、各学期について、合計が24単位を超える単位数の授業科目を履修申告することはできない。ただし、集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目については、この単位数の合計には含めない。

3 履修申告する学生数が授業科目の受け入れ限度を超えた場合、一部の学生の履修を許可しないことがある。その場合、学生は授業科目を担当する教員の指示に従って、修正申告期間内に修正申告を行わなければならない。

(履修申告の制限に関する特例)

第12条 学生が第6条第2項に規定する年次より上級の履修年次の授業科目の履修を希望し、かつ、所属学科の教務委員及び授業担当教員が教育上有益であると認めて許可する場合、学生は、上級年次の授業科目の履修願(別記様式第4号)を履修申告期間内に教務係に提出することにより、上級年次の授業科目を履修することができる。ただし、第8条の規定による原級留置(留年)がある学生の場合、選択必修科目及び選択科目については、すべての原級留置がないと仮定した年次を在籍年次とみなし、履修申告をすることができる。

2 第11条第2項の規定にかかわらず、学生が24単位を超える授業科目の履修を希望し、かつ、所属学科の教務委員及び授業担当教員が教育上有益であると認めて許可する場合、学生は、上限単位数を超える授業科目の履修願(別記様式第5号)を履修申告期間内に教務係に提出することにより、24単位を超える授業科目を履修することができる。

(成績評価)

第13条 履修申告を行って履修した授業科目については、授業担当教員が、授業計画に記載されている成績評価の基準及び評価方法により100点満点で成績評価を行う。

2 前項の規定にかかわらず、学生が正当な事由がなく授業科目の総授業時間数の3分の2以上出席していなければ、その授業科目の成績評価は0点とする。

3 成績評価を標語で表示する場合には、次の基準による。

秀 90点～100点

優 80点～89点

良 70点～79点

可 60点～69点

不合格 0点～59点

4 成績評価に用いられた主要な資料(試験問題、試験答案、レポート課題、提出レポート等)は、成績評価の妥当性を必要に応じて検証するための基礎資料として、国立大学法人九州工業大学法人文書管理規程(平成23年九工大規程第9号)別表第1備考第5項の規定により保存期間5年の文書として取り扱う。

5 個別の授業科目の成績評価に対して不満があり、授業担当教員に説明を求めたにもかかわらず、十分な説明が得られない場合、もしくは、授業担当教員の説明に納得できない場合、学生は、成績評価に対する異議申し立て書(別記様式第6号)を情報工学部長に提出することができる。

(単位の授与等)

第14条 成績評価の結果を合否の種別により表示する場合には、次の基準による。

合格 60点～100点

不合格 0点～59点

2 合格と判定された授業科目については、履修課程表に規定されている単位数が与えられる。

3 学生は、合否判定の結果にかかわらず、履修した授業科目の成績評価の取消しを求める事はできない。

(学期末・学年末試験で不合格になった場合の措置)

第15条 再試験は、実施しない。

2 前項の規定にかかわらず、授業科目の総授業時間数の3分の2以上の授業に出席して不合格となった学生のうち、授業担当教員が必要と認めた学生に対して、試験その他の方法による確認を加えて行い、その結果に基づき成績の修正を行うことがある。

3 成績の修正は、その授業科目が開講された学期の成績報告期限内に行い、その学期内に確定した成績評価を学生に通知する。

(他学科の授業科目の履修)

第16条 所属学科の履修課程表に含まれない授業科目(他学科科目)の履修を希望する学生は、所属学科の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で、履修申告期間内に他学科科目履修願(別記様式第7号)を教務係に提出しなければならない。

2 前項の規定により履修を許可された授業科目は、対象分野科目区分の選択科目として取り扱われる。

(他学部の授業科目の履修)

第17条 他学部の授業科目の履修を希望する学生は、所属学科の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で、履修申告期間内に他学部の科目の履修願(別記様式第8号)を教務係に提出しなければならない。

2 前項の規定により履修を許可された授業科目は、所属学科の教務委員の判断によりその授業科目の内容に応じた科目区分の選択科目として取り扱われる。

(大学院の授業科目の履修)

第17条の2 大学院情報工学府の授業科目の履修を希望する学生は、所属学科の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で、履修申告期間内に履修申告カードを教務係に提出しなければならない。

2 前項の規定により履修できる授業科目は、別に定める。

3 履修申告できる学生は3年次以上の者とし、履修できる単位数は卒業までに6単位までとする。

4 第1項の規定により履修を許可された授業科目は、卒業要件には加算されない。

(教職課程)

第18条 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による免許状を取得しようとする学生は、別表7に定める教職課程の授業科目を履修しなければならない。

(IIFプログラム)

第18条の2 情報工学部は、国際先端情報科学者養成プログラム(International Informatics Frontier Program。以下「IIFプログラム」という。)を開設する。

2 IIFプログラムを修了しようとする学生は、別表8に定める授業科目を履修しなければならない。

3 IIFプログラムに関する学生の選抜方法その他必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生の人間科学科目の履修に関する特例)

第19条 外国人留学生の日本語科目及び日本事情に関する科目の履修及び単位の修得に関しては、九州工業大学外国人留学生の人間科学科目履修の特例に関する細則(平成5年九工大細則第1号)による。

(他大学等における授業科目の履修及び単位認定)

第20条 他大学等において履修した授業科目で、学則第13条の規定により、情報工学部における授業科目の履修により修得したと認定される授業科目については、認定された情報工学部の授業科目の科目区分及び単位区分により単位が与えられる。

2 認定された授業科目については、成績評価を行わない。

(既修得単位の認定)

第21条 本学に入学、再入学又は転入学する以前に履修した授業科目で、学則第14条、第22条及び第23条の規



定により、情報工学部における授業科目の履修により修得したとされる授業科目については、認定された情報工学部の授業科目の科目区分及び単位区分により単位が与えられる。

- 2 3年次編入生を対象とした既修得単位の総認定単位数は、80単位を上限とし、認定に関しては、別に定める。
- 3 学生は、単位認定取下げ願（別記様式第9号）を教務係に提出することにより、認定された授業科目の認定を取り下げることができる。
- 4 認定された授業科目については、成績評価を行わない。
- 5 学則第24条の規定により移籍をした学生の既修得単位の認定は、前項までの規定を準用する。

（GPAによる総合成績の評価）

第22条 学生の総合的な成績は、GPA（Grade Point Average）を用いて評価する。

- 2 GPAは、学生が履修した全ての授業科目について、評価点（Grade Point）をつけ、この評価点を各々の授業科目の単位数による加重をつけて平均した値である。成績評価を評価点に換算する場合は、次の基準による。

90点～100点	4.0
85点～89点	3.5
80点～84点	3.0
75点～79点	2.5
70点～74点	2.0
65点～69点	1.5
60点～64点	1.0
0点～59点	0

- 3 第20条及び第21条の規定により単位認定された授業科目並びに卒業要件に加算されない授業科目は、GPAの計算の対象には含まない。
- 4 同じ授業科目を異なる年度にわたって複数履修した場合、各々の履修年度における授業科目の評価点がGPAの計算の対象となる。

（授業アンケート）

第23条 情報工学部は、開講する各々の授業科目について、その授業内容及び授業方法に対する学生の感想や意見、要望を把握し、それを受けて授業内容及び授業方法の改善を図ることを目的として、授業アンケートを実施する。

- 2 授業アンケートの実施方法その他必要な事項は、別に定める。

（指導教員及び学年担当教員）

第24条 勉学に関する学生への支援を目的として、各々の学生に対して1人の指導教員を割り当て、各学科の各学年に対して1人の学年担当教員を割り当てる。

- 2 指導教員は、担当する学生に関する教務情報を閲覧することができ、閲覧した情報に基づいて、学生の勉学を助け、学生の勉学意欲の増進を図ることを目的とした助言を行う。
- 3 各学科の学年担当教員は、学科の教務委員を補佐して、担当する学年の教育が円滑に実施されることを目的とした勉学上の学生支援、各種ガイダンスの実施、進級が困難な学生に対する履修上の指導、学生からの要望への対応等を行う。

（学力不振者の除籍）

第25条 2年次の学生で、連続する2年間（休学期間を除く。）において、必修科目、選択必修科目、選択科目及び教職課程の授業科目の単位を合計して30単位以上修得しなかった者は、学力不振で成業の見込みのない者として、学則第29条第4号の規定により除籍する。ただし、病気又は留学等の正当な事由があると教務委員会が認めた場合は、この限りではない。

(試験における不正行為に対する懲戒)

第26条 試験において不正行為を行った学生に対しては、当該学期に履修申告した授業科目の全部又は一部について、その成績評価を0点とし、単位を与えない。

2 特に悪質な不正行為を行った学生に対しては、前項の措置に加えて、学則第88条の規定により懲戒する。

(雑則)

第27条 この細則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則 (最終改正分)

1 この細則は、平成25年4月1日から施行する。

2 この細則の規定にかかわらず、平成25年3月31日に在籍する者(以下「在籍者」という。)及び平成25年4月1日以後に在籍者の属する年次に編入学・再入学・転入学する者に係る教育課程の編成、履修方法、修了要件、単位の授与等については、なお従前の例による。

別表 1 (第 5 条関係)

I 各学科共通履修課程表

1 人間科学科目

① 人文社会系

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
入 門 科 目	日本語とコンピュータ入門Ⅰ		2		2									
	日本語とコンピュータ入門Ⅱ		2			2								
	文化人類学入門Ⅰ		2		2									
	文化人類学入門Ⅱ		2			2								
	健康科学入門		2			2								
	社会学入門Ⅰ		2		2									
	社会学入門Ⅱ		2			2								
	法学入門Ⅰ		2		2									
	法学入門Ⅱ		2			2								
	経済学入門Ⅰ		2		2									
経済学入門Ⅱ		2			2									
講 義 科 目	一般言語学 A		2				(2)		(2)					
	一般言語学 B		2				(2)		(2)					
	一般言語学 C		2					(2)		(2)				
	一般言語学 D		2					(2)		(2)				
	文化人類学 A		2				(2)		(2)					
	文化人類学 B		2				(2)		(2)					
	文化人類学 C		2					(2)		(2)				
	文化人類学 D		2					(2)		(2)				
	心理学 A		2				(2)		(2)					
	心理学 B		2				(2)		(2)					
	心理学 C		2					(2)		(2)				
	心理学 D		2					(2)		(2)				
	文化史 A		2				(2)		(2)					
	文化史 B		2				(2)		(2)					
	文化史 C		2					(2)		(2)				
	文化史 D		2					(2)		(2)				
	社会学 A		2				(2)		(2)					
	社会学 B		2				(2)		(2)					
	社会学 C		2					(2)		(2)				
	社会学 D		2					(2)		(2)				
法学 A		2				(2)		(2)						
法学 B		2				(2)		(2)						
法学 C		2					(2)		(2)					
法学 D		2					(2)		(2)					

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考
		必修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
講 義 科 目	経 済 学 A	2					(2)		(2)				
	経 済 学 B	2					(2)		(2)				
	経 済 学 C	2						(2)		(2)			
	経 済 学 D	2						(2)		(2)			
	科 学 史 A	2					(2)		(2)				
	科 学 史 C	2						(2)		(2)			
	地 理 学 A	2					(2)		(2)				
	地 理 学 B	2					(2)		(2)				
	地 理 学 C	2						(2)		(2)			
	地 理 学 D	2						(2)		(2)			
	映 像 文 化 論 A	2					(2)		(2)				
	映 像 文 化 論 C	2						(2)		(2)			
人 間 情 報 科 目	言 語 分 析 法	2							(2)	(2)			
	認 知 言 語 学 入 門	2							(2)	(2)			
	運 動 ・ 人 間 機 械 論	2							(2)	(2)			
	運 動 行 動 情 報 論	2							(2)	(2)			
	自 然 言 語 理 論	2							(2)	(2)			
	情 報 倫 理	2							(2)	(2)			
	情 報 媒 体 論	2							(2)	(2)			
	比 較 文 化 論	2							(2)	(2)			
	ゲ ー ム 理 論	2							(2)	(2)			
	コ ン ピ ュ ー タ 革 命 と 現 代 社 会	2							(2)	(2)			
	情 報 法 学	2							(2)	(2)			
	情 報 人 類 学	2							(2)	(2)			
	英 米 文 化 論	2							(2)	(2)			
	情 報 日 本 文 化 論	2							(2)	(2)			
情 報 社 会 と 教 育	2								2				
計		124											



② 言語系

区分	授 業 科 目			単 位			授 業 時 数								備 考
				必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
英	英 語	I	1			2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
	英 語	II	1			2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
	英 語	III	1				2	(2)	(2)	(2)	(2)				
	英 語	IV	1				2	(2)	(2)	(2)	(2)				
	英 語	V		1				(2)		(2)					
	英 語	VI		1					(2)		(2)				
	英 語	L 1 S		1				(2)		(2)					
	英 語	L 1 F		1					(2)		(2)				
	英 語	L 2 S		1				(2)		(2)					
	英 語	L 2 F		1					(2)		(2)				
	英 語	L 3 S		1				(2)		(2)					
	英 語	L 3 F		1					(2)		(2)				
	英 語	S 1 S		1				(2)		(2)					
	英 語	S 1 F		1					(2)		(2)				
	英 語	S 2 S		1				(2)		(2)					
	英 語	S 2 F		1					(2)		(2)				
	英 語	S 3 S		1				(2)		(2)					
	英 語	S 3 F		1					(2)		(2)				
	英 語	R 1 S		1				(2)		(2)					
	英 語	R 1 F		1					(2)		(2)				
	英 語	R 2 S		1				(2)		(2)					
	英 語	R 2 F		1					(2)		(2)				
	英 語	R 3 S		1				(2)		(2)					
	英 語	R 3 F		1					(2)		(2)				
語	英 語	W 1 S		1			(2)		(2)						
	英 語	W 1 F		1				(2)		(2)					
	英 語	W 2 S		1			(2)		(2)						
	英 語	W 2 F		1				(2)		(2)					
	英 語	W 3 S		1			(2)		(2)						
	英 語	W 3 F		1				(2)		(2)					
	英 語	C 1 S		1			(2)		(2)						
	英 語	C 1 F		1				(2)		(2)					
	英 語	C 2 S		1			(2)		(2)						
	英 語	C 2 F		1				(2)		(2)					
	英 語	C 3 S		1			(2)		(2)						
	英 語	C 3 F		1				(2)		(2)					
	英 語	T 1 S			1		(2)		(2)						
	英 語	T 1 F			1			(2)		(2)					
	英 語	T 2 S			1		(2)		(2)						
	英 語	T 2 F			1			(2)		(2)					
	英 語	T 3 S			1		(2)		(2)						
	英 語	T 3 F			1			(2)		(2)					

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必 修	選 必	選 択	1 年		2 年		3 年		4 年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
言葉と文化	言葉と文化Ⅰ	1			2									
	言葉と文化Ⅱ(ドイツ)		1			2								
	言葉と文化Ⅱ(フランス)		1			2								
	言葉と文化Ⅱ(中国)		1			2								
新修外国語	ドイツ語Ⅰ			1			2							
	ドイツ語Ⅱ			1				2						
	ドイツ語Ⅲ			1					2					
	ドイツ語Ⅳ			1						2				
	フランス語Ⅰ			1			2							
	フランス語Ⅱ			1				2						
	中国語Ⅰ			1			2							
	中国語Ⅱ			1				2						
日本語表現技法	日本語表現技法A			1			(2)		(2)					
	日本語表現技法B			1				(2)		(2)				
計		5	35	16										

(注)

- 英語：1. I、II、III及びIVの〔2〕部分は、(以前不合格となったために)再度履修する人のみ履修できる。  
 2. 選択必修及び選択の英語の受講については、必修の英語全てを修得済みでなければならない。  
 3. 英語の科目名に付いている記号の意味は、以下のとおりである。  
 L;Listening S;Speaking R;Reading W;Writing C;Comprehensive T;Transfer  
 1～3 ; レベルの違いを表す。  
 S;Spring (前期) F;Fall (後期)

- 新修外国語：1. 各言語のIIを履修するには、同じ言語のIの単位を修得済みでなければならない。  
 2. 各言語のIIIの受講には、同じ言語のIIの単位を修得済みであることが望ましい。  
 3. 各言語のIVの受講には、同じ言語のIIIの単位を修得済みであることが望ましい。

③ 健康・スポーツ科学系

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
運 動 科 学 I (実技)	1			2									
健康・スポーツ科学論演習	1				2								
運 動 科 学 II (実技)	1					2							
運 動 科 学 III (実技)	1						2						
運 動 科 学 IV (実技)			1					(2)		(2)			
計	4		1										

④ 認定科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
人間科学科目区分認定科目													

2 総合科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
総 合 科 目 I			2										
総 合 科 目 II			1										
総 合 科 目 III			1										
総 合 科 目 IV			2										
総 合 科 目 V			2										
総 合 科 目 VI			1										
総 合 科 目 VII			1										
計			10										

3 情報科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
情 報 職 業 論			2					2					
情 報 産 業 職 業 論			2						2				
情報メディアとコミュニケーション			2						2				
産 業 組 織 論			2						2				
計			8										

4 早期卒業科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
特 別 卒 業 研 究	8									24			
計	8									24			

学修細則第7条第3項に該当する場合のみ履修可

## II 各学科別履修課程表

### 1 知能情報工学科

#### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
数 学	離 散 数 学	2			2									
	線 形 代 数 I	2			2									
	線 形 代 数 II	2				2								
	数 学 演 習 II A		1				2							
	解 析 I	2			2									
	解 析 II	2				2								
	応 用 解 析		2				2							
	確 率 ・ 統 計	2					(2)		(2)					
	微 分 方 程 式		2					2						
物 理	数 学 演 習 I A		1			2								
	力 学	2			2									
	電 磁 気 学	2				2								
	現 代 物 理 学 I		2				2							
基 礎 実 験	現 代 物 理 学 II		2					2						
	情 報 工 学 基 礎 実 験 I	2				4								
基礎 実 験	情 報 工 学 基 礎 実 験 II A	1					3							
	自然科学科目区分認定科目 I													選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目 II													選択科目の単位として個別に認定する
	計	19	10											

#### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
情 報 基 礎 科 目	計 算 機 リ テ ラ シ ー A	1			2									
	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2			4									
	デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム	2				4								
	プ ロ グ ラ ム 設 計	2					4							
	計 算 機 シ ス テ ム I	2			2									
	計 算 機 シ ス テ ム II	2				2								
情 報 専 門 科 目	論 理 数 学 A	2			2									
	グ ラ フ 理 論		2				2							
	論 理 回 路	2				2								
	人 工 知 能 基 礎 A	2					2							
	オ ー ト マ ト ン と 言 語 理 論	2				2								
	オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ ・ 演 習	2						4						
	ア ル ゴ リ ズ ム 設 計 A		2					2						
	計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ A		2				2							
	デ ー タ ベ ー ス 理 論		2						2					
	オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム		2							2				
	ソ フ ト ウ ェ ア 設 計	2								2				
	計 算 量 理 論		2							2				
	計 算 理 論		2						2					
	情 報 理 論 A		2							2				
計 算 機 ネ ッ ト ワ ー ク	2							2						
プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 処 理 系	2							2						
情報科目区分認定科目 I	情報科目区分認定科目 I													選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目 II													選択科目の単位として個別に認定する
	計	27	16											

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1 年		2 年		3 年		4 年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
知能情報工学基礎演習Ⅰ	1			2									
知能情報工学基礎演習Ⅱ			1			2							
論 理 と 証 明		2						2					推論
人工知能プログラミング・演習	2							4					
パ タ ー ン 理 解		2						2					メディア
知 識 ベ ー ス		2							2				推論
知能情報工学特別講義			1						2				
認 知 科 学			2					2					
コンピュータビジョンA		2							2				メディア
コンピュータグラフィックスA		2							2				メディア
言 語 処 理 工 学		2						2					メディア
知能システム設計論		2						2					推論
ソフトウェア工学A			2						2				
推 論 と 学 習		2							2				推論
音 声 工 学			2								2		
シ ス テ ム 制 御			2						2				
知能情報工学実験演習Ⅰ	1					3							
知能情報工学実験演習Ⅱ	1							3					
知能情報工学実験演習Ⅲ	2								6				
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1										適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2										適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2			2							
卒 業 研 究	8										6	18	
情 報 関 連 法 規			2					2					
知 的 財 産 概 論			2					(2)	(2)				
行 政 情 報 概 論			2			2							
技 術 者 倫 理 A	2							2					
脳 型 シ ス テ ム			2						2				
対象分野科目区分認定科目Ⅰ													選択必修科目の単位として個別に認定する
対象分野科目区分認定科目Ⅱ													選択科目の単位として個別に認定する
計	17	16	23										

注) 対象分野の選択必修科目のうち、推論分野から最低4単位(2科目)、メディア分野から最低4単位(2科目)履修しなければならない。

## 2 電子情報工学科

### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必 修	選 必	選 択	1 年		2 年		3 年		4 年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
数 学	解 析 I	2			2									
	解 析 II	2				2								
	線 形 代 数 I	2			2									
	線 形 代 数 II	2				2								
	離 散 数 学	2			2									
	微 分 方 程 式		2			2								
	応 用 数 学	2					2							
	応 用 解 析 学		2				2							
	確 率 ・ 統 計	2					2							
物 理	基 礎 物 理 学 I	2			2									
	基 礎 物 理 学 II E	2				2								
	電 磁 気 学 I ・ 同 演 習	2					4							
	現 代 物 理 学 I		2					2						
化 学	化 学 I		2		2									
基礎 実験	情 報 工 学 基 礎 実 験 I	2				4								
	情 報 工 学 基 礎 実 験 II E	1					3							
	自然科学科目区分認定科目Ⅰ													選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目Ⅱ													選択科目の単位として個別に認定する
計		23	8											

### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必 修	選 必	選 択	1 年		2 年		3 年		4 年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
情報 基礎 科目	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2			4									
	電 子 情 報 工 学 入 門	1			2									
	デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム	2				4								
	プ ロ グ ラ ム 設 計	2					4							
	計 算 機 シ ス テ ム I	2			2									
	計 算 機 シ ス テ ム II	2				2								
情報 専 門 科 目	論 理 設 計		2				2							
	オ ー ト マ ト ン 理 論		2			2								
	計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ E		2				2							
	ア ル ゴ リ ズ ム 設 計 E		2					2						
	デ ー タ ベ ー ス E		2					2						
	オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム E		2					2						
	オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ			2			4							
生 体 情 報 シ ス テ ム E			2						2					
	情報科目区分認定科目Ⅰ													選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目Ⅱ													選択科目の単位として個別に認定する
計		11	12	4										



③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1 年		2 年		3 年		4 年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
物 理 数 学 基 礎			2		2								
電 気 回 路 E	2					2							
組 込 み シ ス テ ム 技 術 概 論			2					2					
電 磁 気 学 II		2				2							* 1
情 報 理 論 E		2				2							* 2
計 算 機 通 信 基 礎	2					2							
現 代 物 理 学 II		2						2					* 1
電 子 物 理		2						2					* 1
回 路 と シ ス テ ム		2				2							* 1・* 2
電 子 回 路 I E	2							2					
電 子 回 路 II E		2							2				* 1
通 信 理 論		2							2				* 2
半 導 体 工 学		2							2				* 1
電 子 情 報 工 学 実 験 I	1					3							
電 子 情 報 工 学 実 験 II	1							3					
電 子 マ テ リ ア ル 工 学			2						2				
ネ ッ ト ワ ー ク ア ー キ テ ク チ ャ		2							2				* 2
ネ ッ ト ワ ー ク セ キ ュ リ テ イ			2							2			
デ ジ タ ル 信 号 処 理		2							2				* 2
デ ジ タ ル コ ン テ ン ツ			2							2			
L S I 設 計		2								2			* 1
L S I 設 計 演 習			1								2		
デ ジ タ ル シ ス テ ム 設 計		2							2				* 1
集 積 回 路 製 作 演 習			1								2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1										適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2										適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2			2							
コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス E			2						2				
通 信 機 器			2		(2)			(2)		(2)			
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用			2						2				
知 的 財 産 概 論			2						2				
行 政 情 報 概 論			2								2		
情 報 関 連 法 規			2								2		
卒 業 研 究	8										12	12	
技 術 者 概 論			1			2							
技 術 者 倫 理 E	1					2							
電 子 情 報 セ ミ ナ ー I		1							2				* 1・* 2
電 子 情 報 セ ミ ナ ー II	1									2			
脳 型 シ ス テ ム			2							2			
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I													選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II													選択科目の単位として個別に認定する
計	18	25	32										

注) \* 1 の科目の中から7単位以上、\* 2 の科目の中から5単位以上修得しなければならない。

### 3 システム創成情報工学科

#### ① 自然科学科目

区分	授業科目	単位			授業時数								備考		
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
数 学	解析Ⅰ同演習	2			4										
	解析Ⅱ	2				2									
	離散数学	2				2									
	線形代数Ⅰ	2			2										
	線形代数Ⅱ同演習	2				4									
	微分方程式	2					2								
	応用数学	2					2								
物 理	確率論	2					2								
	運動工学	2				2									
	電磁工学	2				2									
化学	光工学	2					2								
	化学Ⅰ			2	2										
	自然科学科目区分認定科目Ⅰ														選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目Ⅱ														選択科目の単位として個別に認定する
	計	22		2											

#### ② 情報科目

区分	授業科目	単位			授業時数								備考		
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
情報 基礎 科目	プログラミング	2			4										
	データ構造とアルゴリズム	2					4								
	プログラム設計	2					4								
	計算機システムⅠ	2				2									
	計算機システムⅡ	2					2								
情 報 専 門 科 目	プログラミング応用S	2				4									
	計算機活用入門	1			2										
	情報理論S	2					2								
	離散構造論	2					2								
	データベースS	2							2						
	統計とデータ解析	2							2						
	コンピュータグラフィックスS		2						2						*1
	数値計算		2						2						*1
	オペレーティングシステムS		2							2					*1
	計算機ネットワーク	2								2					
	画像情報処理		2						2						*1
	システム最適論		2							2					*1
	知的財産概論			2						2					
	行政情報概論			2								2			
	情報関連法規			2								2			
アルゴリズム設計S		2							2					*1	
計算基礎論		2								2				*1	
通信工学		2								2				*1	
マルチメディア工学概論		2									2			*1	
	情報科目区分認定科目Ⅰ														選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目Ⅱ														選択科目の単位として個別に認定する
	計	23	18	6											

注) \*1の科目の中から8単位以上修得しなければならない。

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
シ ス テ ム 創 成 入 門	1			2									
基 礎 プ ロ ジ ェ ク ト	1			2									
物 作 り プ ロ ジ ェ ク ト	1			3									
電 気 回 路	2					2							
電 子 回 路 S		2							2				* 2
シ ス テ ム ダイ ナ ミ ッ ク ス	2					2							
シ ス テ ム 制 御 基 礎 論	2							2					
シ ス テ ム 制 御 コ ン プ ュ ー テ ィ ン グ		2						2					* 2
シ ス テ ム 制 御 設 計 論		2							2				* 2
現 代 シ ス テ ム 制 御 論		2						2					* 2
ロ ボ ッ ト 工 学		2							2				* 2
計 測 工 学 入 門	2					2							
信 号 処 理 I	2						2						
信 号 処 理 II		2						2					* 2
シ ス テ ム 創 成 特 論	1								2				
技 術 要 論	1								2				
脳 型 シ ス テ ム			2						2				
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1										適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2										適宜開講。企業での研 修時間が90時間以上 のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2			2							
組 込 み シ ス テ ム 技 術 概 論			2					2					
シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 物 理	2					3							
シ ス テ ム 創 成 基 礎 実 験	2						4						
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト I		1.5						3					* 3
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト II		1.5						3					* 3
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト III		1.5						3					* 3
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト IV		1.5						3					* 3
超 P B L プ ロ ジ ェ ク ト S			2						3				
創 作 プ ロ ジ ェ ク ト I		2								4			* 4
創 作 プ ロ ジ ェ ク ト II		2								4			* 4
卒 業 研 究		8									16		* 4
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I													選択必修科目の単位と して個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II													選択科目の単位と して個別に認定する
計	19	30	11										

注)

- ① \* 2の科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- ② \* 3の科目の中から3単位以上修得しなければならない。
- ③ \* 4の科目の中から、創作プロジェクト I 及び II の 4 単位又は卒業研究 8 単位を修得しなければならない。

#### 4 機械情報工学科

##### ① 自然科学科目

区分	授業科目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
数学	解析Ⅰ・同演習	2			4									
	解析Ⅱ・同演習	2				4								
	線形代数Ⅰ・同演習	2			4									
	線形代数Ⅱ・同演習	2				4								
	離散数学	2			2									
	論理数学M		2			2								
	微分方程式	2					2							
確率・統計	2							2						
物理	基礎物理学・同演習	2			4									
	力学	2				2								
	電磁気学	2					2							
	現代物理学			2					2					
	熱・統計力学			2						2				
化学	化学Ⅰ			2	2									
基礎実験	情報工学基礎実験Ⅰ	2			4									
	自然科学科目区分認定科目Ⅰ												選択必修科目の単位として個別に認定する	
	自然科学科目区分認定科目Ⅱ												選択科目の単位として個別に認定する	
	計	22	2	6										

##### ② 情報科目

区分	授業科目	単 位			授 業 時 数								備 考	
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
情報基礎科目	プログラミング	2			4									
	データ構造とアルゴリズム	2				4								
	プログラム設計	2					4							
	計算機システムⅠ	2					2							
	計算機システムⅡ	2						2						
情報専門科目	計算機リテラシーM	1			2									
	オブジェクト指向開発	2					2							
	数値計算		2				2							
	組込みシステムⅠ		2					2						
	有限要素法の基礎		2						2					
	情報通信ネットワーク		2						2					
	組込みシステムⅡ		2							2				
	データベースM		2					2						
	マルチメディア技術			2						2				
	プログラミング応用M			2								2		
	知的財産概論			2									2	
	行政情報概論			2										2
	情報関連法規			2										2
	情報科目区分認定科目Ⅰ												選択必修科目の単位として個別に認定する	
	情報科目区分認定科目Ⅱ												選択科目の単位として個別に認定する	
	計	13	12	10										

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必修	選 必	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
機 械 情 報 基 礎	1			2									
棒 と 軸 の 力 学	2					2							
は り の 力 学	2						2						
弾 性 体 の 力 学		2						2					* 1
C A E ・ 演 習		2							4				* 2
流 れ 学 I	2					2							
流 れ 学 II		2						2					* 1
熱 流 動 シ ス テ ム		2						2					* 1
機 械 数 学		2					2						
熱 力 学		2							2				* 2
計 算 熱 流 体 工 学			2						2				
電 気 回 路 M	2						2						
シ ス テ ム 動 力 学 II		2							2				* 2
電 子 回 路 M			2				2						
シ ス テ ム 動 力 学 I		2						2					* 1
制 御 基 礎 I	2								2				
制 御 基 礎 II		2								2			* 2
シ ス テ ム 工 学			2				2						
精 密 加 工 学	2						2						
シ ス テ ム 計 測		2							2				* 1
メ カ ト ロ 材 料 学		2								2			* 2
機 械 情 報 プ ロ ジ ェ ク ト I	1				3								
C A D と デ ザ イン I	1					3							
生 産 加 工 実 習	1					3							
C A D と デ ザ イン II	2						4						
機 械 情 報 プ ロ ジ ェ ク ト II	1								3				
機 械 情 報 工 学 実 験	1								3				
機 械 情 報 プ ロ ジ ェ ク ト III	1									3			
機 械 情 報 工 学 応 用 実 験	1									3			
技 術 者 倫 理 M	1										2		
日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1										2		
卒 業 研 究	8										12	12	
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1										適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2										適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2				2						
機 械 情 報 工 学 特 別 講 義			2								2		
脳 型 シ ス テ ム			2							2			
総 合 エ ン ジ ニ ア リ ン グ I		1					2						
総 合 エ ン ジ ニ ア リ ン グ II		1					2						
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I													選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II													選択科目の単位として個別に認定する
計	32	24	15										

注)

- ① \* 1 の科目の中から4単位以上修得しなければならない。
- ② \* 2 の科目の中から4単位以上修得しなければならない。

## 5 生命情報工学科

### ① 自然科学科目

区分	授業科目	単位			授業時数								備考	
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
数 学	解析基礎・演習	2			3									
	線形代数Ⅰ	2			2									
	離散数学	2			2									
	微分方程式	2					2							
	応用数学			2			2							
物 理	確率・統計			2			2							
	物理学入門・演習	2			3									
	基礎物理学	2				2								
	現代物理学		2				2							* 4
化学	基礎化学	2			2									
生物	基礎生物学	2			2									
実 験	基礎実験	1				3								
	化学実験	1					3							
	自然科学科目区分認定科目Ⅰ													選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目Ⅱ													選択科目の単位として個別に認定する
	計	18	2	4										

### ② 情報科目

区分	授業科目	単位			授業時数								備考	
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
情 報 基 礎 科 目	計算機システムⅠ	2			2									
	プログラミング	2			4									
	計算機システムⅡ	2				2								
	データ構造とアルゴリズム	2				4								
	情報ネットワーク	2					2							
	プログラム設計	2					4							
	データベースB	2						2						
情 報 専 門 科 目	ネットワークプログラミング	2					4							
	コンピュータグラフィックスB	2						2						
	人工知能		2						2					* 3
	数値計算		2						2					* 3
	バイオシミュレーション		2							2				* 3
	バイオインフォマティクス		2							2				* 3
	計算機アーキテクチャ			2								2		
	ソフトウェア工学			2									2	
	知的財産概論			2						2				
	行政情報概論			2								2		
	情報関連法規			2								2		
	データベース演習	1								2				
	ネットワーク演習	1								2				
数値計算演習	1									2				
グラフィックス演習	1									2				
マルチメディア技術演習			1									2		
	情報科目区分認定科目Ⅰ													選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目Ⅱ													選択科目の単位として個別に認定する
	計	22	8	11										



③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 時 数								備 考	
	必 修	選 必	選 択	1 年		2 年		3 年		4 年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
生 命 情 報 工 学 入 門	1			2									
生 命 情 報 工 学 概 論	1					2							
バ イ オ 技 術 者 倫 理	1							2					
専 門 概 要	1								2				
化 学 熱 力 学 ・ 演 習	2				3								
有 機 化 学	2				2								
生 物 有 機 化 学		2				2							* 4
酵 素 工 学		2						2					* 5
分 子 設 計 基 礎		2							2				* 4
機 器 分 析		2						2					* 4
分 子 生 物 学	2				2								
生 化	2					2							
分 子 遺 伝 学	2						2						
細 胞 生 物 学		2					2						* 4
生 体 情 報 学		2						2					* 4
生 化 数 学 ・ 演 習	2						3						
生 物 化 学 工 学		2					2						* 5
生 物 プ ロ セ ス シ ス テ ム 工 学		2						2					* 5
遺 伝 子 工 学		2							2				* 5
微 生 物 工 学		2						2					* 5
医 用 工 学		2							2				* 5
環 境 工 学		2							2				* 2
構 造 生 物 学		2						2					* 4
ラ イ フ サ イ エ ン ス 実 験 I	2							6					
ラ イ フ サ イ エ ン ス 実 験 II	2							6					
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 実 験 I	2								6				
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 実 験 II	2								6				
科 学 技 術 英 語 I		1							2				* 1
科 学 技 術 英 語 II		1								2			* 1
総 合 地 球 環 境 学		1						(2)		(2)			* 2
教 職 実 践 演 習			2								2		* 6
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1										適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2										適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2				2						
卒 業 研 究	8										12	12	
脳 型 シ ス テ ム			2						2				
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I													選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II													選択科目の単位として個別に認定する
計	32	29	9										

3、4年次に開講される情報専門の選択科目及び3年次に開講される対象分野の選択科目の履修方法については、3年進級時に指示する。

注)

- ① \* 1の科目及び日本語表現技法A、Bの中から2科目以上。
- ② \* 2の科目の中から1科目以上。
- ③ \* 3の科目の中から1科目以上。
- ④ \* 4の科目の中から2科目以上。
- ⑤ \* 5の科目の中から2科目以上。
- ⑥ \* 6の科目の受講は、教職課程の学生のみに限る。3年までの全ての教職科目と本科目を修得したとき、本科目を卒業要件単位として含めることができる。
- ⑦ \* 大学院科目「生命機能構造連関特論」を、学部3年次との合同開講講義科目「構造生物学」とする。

## 別表 2（第 5 条関係）

### I. 3 年次編入学生の人間科学科目区分の履修方法（各学科共通）

3 年次編入学生は、1 年次から入学する学生のための教育課程に設けられている人間科学科目区分の授業科目（別表 1 の I）を履修することができる。ただし、英語 I、II、III 及び IV については、〔2〕として再履修者向けに開講している授業しか履修できない。

人間科学科目区分の授業科目の修得単位は、同別表に定められている各授業科目の単位区分にかかわらず、すべて選択科目として単位に加算される。

（注意） 3 年次編入学生のための各学科別履修課程表中、授業年次を「3・4 年」としている科目は、1・2 年生が対象となっているが、編入学生も履修することができる科目を示している。

## II 3年次編入生のための各学科別履修課程表

### 1 知能情報工学科

#### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後		
数 学	離 散 数 学	2			2							
	線 形 代 数 I	2			2							
	線 形 代 数 II		2			2						
	数 学 演 習 I A		1			2						
	解 析 I	2			2							
	解 析 II		2			2						
	応 用 解 析		2			2						
	確 率 ・ 統 計	2			2							
	微 分 方 程 式		2			2						
	数 学 演 習 II A		1		2							
物 理	力 学	2			2							
	電 磁 気 学		2			2						
	現 代 物 理 学 I		2		2							
	現 代 物 理 学 II		2			2						
基礎 実験	情報工学基礎実験 I	1				3						
	情報工学基礎実験 II A	1			3							
	自然科学科目区分認定科目 I											選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目 II											選択科目の単位として個別に認定する
	計	12	16									

#### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後		
情報 基礎 科目	計 算 機 リ テ ラ シ ー A		1		2							
	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2			4							
	デ ー タ 構 造 と アル ゴ リ ズ ム	2				4						
	プ ロ グ ラ ム 設 計	2			4							
	計 算 機 シ ス テ ム I	2			2							
	計 算 機 シ ス テ ム II		2			2						
情 報 専 門 科 目	論 理 数 学 A		2		2							
	論 理 回 路		2			2						
	人 工 知 能 基 礎 A		2		2							
	オ ー ト マ ト ン と 言 語 理 論		2			2						
	オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ ・ 演 習		2			4						
	ア ル ゴ リ ズ ム 設 計 A		2			2						
	計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ A		2		2							
	デ ー タ ベ ー ス 理 論		2				2					
	オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム		2				2					
	グ ラ フ 理 論		2			2						
	ソ フ ト ウ ェ ア 設 計	2					2					
	計 算 量 理 論		2				2					
	計 算 理 論		2				2					
	情 報 理 論 A		2				2					
	計 算 機 ネ ッ ト ワ ー ク		2				2					
プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 処 理 系		2				2						
	情報科目区分認定科目 I											選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目 II											選択科目の単位として個別に認定する
	計	10	33									

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
	必 修	選 必	選 択	3 年 ・ 4 年		3 年		4 年			
				前	後	前	後	前	後		
知能情報工学基礎演習Ⅰ		1		2							
知能情報工学基礎演習Ⅱ			1	2							
論 理 と 証 明		2				2					推論
人工知能プログラミング・演習	2					4					
パ タ ー ン 理 解		2				2					メディア
知 識 ベ ー ス		2					2				推論
知能情報工学特別講義			1				2				
認 知 科 学			2			2					
コンピュータビジョンA		2					2				メディア
コンピュータグラフィックスA		2					2				メディア
言 語 処 理 工 学		2				2					メディア
知能システム設計論		2				2					推論
ソフトウェア工学A			2				2				
推 論 と 学 習		2					2				推論
音 声 工 学			2					2			
シ ス テ ム 制 御			2				2				
知能情報工学実験演習Ⅰ		1		3							
知能情報工学実験演習Ⅱ	1						3				
知能情報工学実験演習Ⅲ	2							6			
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1								適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2								適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2	2							
卒 業 研 究	8							6	18		
情 報 関 連 法 規			2				2				
知 的 財 産 概 論			2				(2)	(2)			
行 政 情 報 概 論			2	2							
技 術 者 倫 理 A	2						2				
脳 型 シ ス テ ム			2					2			
対象分野科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する
対象分野科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する
計	15	18	23								

注) 対象分野の選択必修科目のうち、推論分野から最低4単位(2科目)、メディア分野から最低4単位(2科目)履修することが望ましい。

## 2 電子情報工学科

### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後		
数 学	解 析 I	2			2							
	解 析 II		2			2						
	線 形 代 数 I	2			2							
	線 形 代 数 II		2			2						
	離 散 数 学		2		2							
	微 分 方 程 式		2			2						
	応 用 数 学	2			2							
	応 用 解 析 学		2		2							
	数 理 統 計		2		2							
物 理	確 率 論	2			2							
	基 礎 物 理 学 I	2			2							
	基 礎 物 理 学 II E		2			2						
	電 磁 気 学 I・同 演 習	2			4							
化 学	現 代 物 理 学 I		2			2						
基 礎 実 験	化 学 I		2		2							
	情 報 工 学 基 礎 実 験 I	1				3						
	情 報 工 学 基 礎 実 験 II E	1			3							
	自 然 科 学 科 目 区 分 認 定 科 目 I											選 択 必 修 科 目 の 単 位 と し て 個 別 に 認 定 す る
	自 然 科 学 科 目 区 分 認 定 科 目 II											選 択 科 目 の 単 位 と し て 個 別 に 認 定 す る
	計	14	18									

### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後		
情 報 基 礎 科 目	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2			4							
	電 子 情 報 工 学 入 門			1	2							
	デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム	2				4						
	プ ロ グ ラ ム 設 計		2		4							
	計 算 機 シ ス テ ム I	2			2							
	計 算 機 シ ス テ ム II		2			2						
情 報 専 門 科 目	論 理 設 計		2		2							
	オ ー ト マ ト ン 理 論		2			2						
	論 理 シ ス テ ム 設 計		2			2						
	ア ル ゴ リ ズ ム 設 計 E		2				2					
	デ ー タ ベ ー ス E		2					2				
	オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム E		2					2				
	オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ			2		4						
生 体 情 報 シ ス テ ム E			2					2				
	情 報 科 目 区 分 認 定 科 目 I											選 択 必 修 科 目 の 単 位 と し て 個 別 に 認 定 す る
	情 報 科 目 区 分 認 定 科 目 II											選 択 科 目 の 単 位 と し て 個 別 に 認 定 す る
	計	6	16	5								

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考
	必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	
物 理 数 学 基 礎			2		2					
電 気 回 路 E	2			2						
組 込 み シ ス テ ム 技 術 概 論			2			2				
電 磁 気 学 II		2			2					
情 報 理 論 E		2			2					
計 算 機 通 信 基 礎	2				2					
現 代 物 理 学 II		2				2				
電 子 物 理		2				2				
回 路 と シ ス テ ム		2			2					
電 子 回 路 I E	2					2				
電 子 回 路 II E		2					2			
通 信 理 論		2					2			
半 導 体 工 学		2					2			
電 子 情 報 工 学 実 験 I	1				3					
電 子 情 報 工 学 実 験 II	1					3				
電 子 マ テ リ ア ル 工 学			2				2			
ネ ッ ト ワ ー ク ア ー キ テ ク チ ャ			2			2				
ネ ッ ト ワ ー ク セ キ ュ リ テ イ			2				2			
デ ジ タ ル 信 号 処 理			2			2				
デ ジ タ ル コ ン テ ン ツ			2				2			
L S I 設 計			2				2			
L S I 設 計 演 習			1					2		
集 積 回 路 工 学			2			2				
集 積 回 路 製 作 演 習			1					2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1							適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2							適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2		2					
コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス E			2				2			
通 信 機 器			2	2						
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用			2				2			
知 的 財 産 概 論			2			(2)		(2)		
行 政 情 報 概 論			2					2		
情 報 関 連 法 規			2					2		
卒 業 研 究	8							12	12	
技 術 者 概 論			1	2						
技 術 者 倫 理 E	1				2					
電 子 情 報 セ ミ ナ ー I		1				2				
電 子 情 報 セ ミ ナ ー II	1						2			
脳 型 シ ス テ ム			2				2			
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I										選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II										選択科目の単位として個別に認定する
計	18	17	40							



### 3 システム創成情報工学科

#### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数				備 考		
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年			4年	
					前	後	前	後	前	後	
数 学	解 析 I 同 演 習	2			4						
	解 析 II		2			2					
	離 散 数 学	2				2					
	線 形 代 数 I		2		2						
	線 形 代 数 II 同 演 習	2				4					
	微 分 方 程 式		2		2						
	応 用 数 学		2		2						
物 理	確 率 論	2				2					
	運 動 工 学		2			2					
	電 磁 工 学		2			2					
化 学	光 工 学		2			2					
	化 学 I		2		2						
	自然科学科目区分認定科目Ⅰ										選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目Ⅱ										選択科目の単位として個別に認定する
	計	8	16								

#### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数				備 考		
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年			4年	
					前	後	前	後	前	後	
情 報 基 礎 科 目	プ ロ グ ラ ミ ン グ		2		4						
	デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム		2		4						
	プ ロ グ ラ ム 設 計		2			4					
	計 算 機 シ ス テ ム I		2			2					
	計 算 機 シ ス テ ム II		2		2						
情 報 専 門 科 目	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 S		2			4					
	計 算 機 活 用 入 門		1		2						
	情 報 理 論 S		2			2					
	離 散 構 造 論		2			2					
	デ ー タ ベ ー ス S	2					2				
	統 計 と デ ー タ 解 析	2					2				
	コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス S		2				2				* 1
	数 値 計 算		2				2				* 1
	オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム S		2					2			* 1
	計 算 機 ネ ッ ト ワ ー ク	2						2			* 1
	画 像 情 報 処 理		2				2				* 1
	シ ス テ ム 最 適 論		2					2			* 1
	知 的 財 産 概 論			2			(2)		(2)		
	行 政 情 報 概 論			2					2		
ア ル ゴ リ ズ ム 設 計 S		2					2			* 1	
計 算 基 礎 論		2					2			* 1	
通 信 工 学		2					2			* 1	
マ ル チ メ デ ィ ア 工 学 概 論		2						2		* 1	
	情報科目区分認定科目Ⅰ										選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目Ⅱ										選択科目の単位として個別に認定する
	計	6	35	4							

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
	必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後		
シ ス テ ム 創 成 入 門		1		2							
基 礎 プ ロ ジ ェ ク ト	1			2							技術者倫理に該当
物 作 り プ ロ ジ ェ ク ト		1		3							
電 気 回 路		2		2							
電 子 回 路 S		2					2				* 2
シ ス テ ム ダイ ナ ミ ッ ク ス		2			2						
シ ス テ ム 制 御 基 礎 論	2					2					
シ ス テ ム 制 御 コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ		2				2					* 2
シ ス テ ム 制 御 設 計 論		2					2				* 2
現 代 シ ス テ ム 制 御 論		2				2					* 2
ロ ボ ッ ト 工 学 基 礎		2					2				* 2
ロ ボ ッ ト 工 学		2						2			* 2
計 測 工 学 入 門		2		2							
信 号 処 理 I		2			2						
信 号 処 理 II		2				2					* 2
先 端 I T 英 語			2			2					
応 用 シ ス テ ム 工 学			2				2				
シ ス テ ム 創 成 特 論	1						2				
技 術 要 論	1						2				
脳 型 シ ス テ ム			2				2				
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1								適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2								適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2		2						
組 込 み シ ス テ ム 技 術 概 論			2			2					
シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 物 理		2		3							
シ ス テ ム 創 成 基 礎 実 験		1			3						
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト I		1.5					3				* 3
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト II		1.5					3				* 3
シ ス テ ム 創 成 プ ロ ジ ェ ク ト III		1.5						3			* 3
超 PBL プ ロ ジ ェ ク ト S			2					3			
創 作 プ ロ ジ ェ ク ト I		2							4		* 4
創 作 プ ロ ジ ェ ク ト II		2							4		* 4
卒 業 研 究		8								16	* 4
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I											選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II											選択科目の単位として個別に認定する
計	5	43.5	15								

#### 4 機械情報工学科

##### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数				備 考		
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年			4年	
					前	後	前	後		前	後
数 学	解 析 I ・ 同 演 習	2			3						
	解 析 II ・ 同 演 習	2				3					
	線 形 代 数 I ・ 同 演 習	2			3						
	線 形 代 数 II ・ 同 演 習	2				3					
	離 散 数 学	2			2						
	物 理 数 学 ・ 同 演 習		2		3						
	論 理 数 学 M		2			2					
	微 分 方 程 式	2			2						
	確 率 ・ 統 計	2					2				
物 理	基 礎 物 理 学 A ・ 同 演 習	2			4						
	基 礎 物 理 学 B ・ 同 演 習	2				4					
	基 礎 物 理 学 C ・ 同 演 習	2				4					
	現 代 物 理 学			2			2				
情 報 物 理 学			2				2				
化 学	化 学 I			2	2						
基礎実験	情 報 工 学 基 礎 実 験 I	1			3						
	自然科学科目区分認定科目 I										選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目 II										選択科目の単位として個別に認定する
	計	21	4	6							

##### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数				備 考		
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年			4年	
					前	後	前	後		前	後
情 報 基 礎 科 目	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2			4						
	デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム	2				4					
	プ ロ グ ラ ム 設 計	2			4						
	計 算 機 シ ス テ ム I	2			2						
	計 算 機 シ ス テ ム II	2				2					
情 報 専 門 科 目	計 算 機 リ テ ラ シ ー M	1			2						
	計 算 モ デ ル と ア ル ゴ リ ズ ム	2				2					
	組 込 み ソ フ ト ウ ェ ア		2				2				
	コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス M		2						2		
	デ ー タ ベ ー ス M		2						2		
	人 工 知 能 M		2					2			
	数 値 計 算		2			2					
	有 限 要 素 法 の 基 礎		2					2			
	情 報 通 信 ネットワーク			2				2			
	情 報 通 信 ネットワーク実習			1				2			
	マ ル チ メ デ ィ ア 技 術			2					2		
	マ ル チ メ デ ィ ア 技 術 実 習			1					2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 M			2						2	
	知 的 財 産 概 論			2						2	
	行 政 情 報 概 論			2						2	
情 報 関 連 法 規			2						2		
設 計 情 報 処 理			2						2		
	情報科目区分認定科目 I										選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目 II										選択科目の単位として個別に認定する
	計	13	12	16							

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
	必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後		
機 械 情 報 基 礎			2	2							
機 械 情 報 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅲ	1						3				
棒 と 軸 の 力 学	2			2							
熱 力 学		2					2				*
電 気 回 路 M・ 同 演 習	2			4							
は り の 力 学	2				2						
C A D と デ ザ イン I		1		3							
制 御 基 礎 I	2					2					
工 業 動 力 学		2			2						*
流 れ 学	2			2							
電 子 回 路 M			2		2						
メ カ ト ロ 材 料 学		2					2				
生 産 加 工 実 習		1		3							
熱 流 動 シ ス テ ム Ⅱ		2				2					
弾 性 体 の 力 学		2				2					
C A D と デ ザ イン Ⅱ		2			4						
機 械 情 報 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅱ	1						3				
制 御 基 礎 Ⅱ		2					2				*
シ ス テ ム 動 力 学		2					2				*
シ ス テ ム 工 学			2			2					
精 密 加 工 学	2				2						
シ ス テ ム 計 測		2					2				*
機 械 情 報 工 学 実 験	1						3				
機 械 数 学		2					2				
C A E ・ 演 習		2						4			
熱 流 動 シ ス テ ム I		2					2				
機 械 情 報 プ ロ ジ ェ ク ト I		1			3						
イ ン タ ー ン シ ッ プ		1									適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2								適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2		2						
機 械 情 報 工 学 応 用 実 験	1							3			
機 械 情 報 工 学 特 別 講 義			2						2		
計 算 熱 流 体 工 学			2					2			
日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1								2		
技 術 者 倫 理 M	1								2		
卒 業 研 究	8								12	12	
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I											選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II											選択科目の単位として個別に認定する
計	26	28	14								

## 5 生命情報工学科

### ① 自然科学科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後		
数 学	解 析 基 礎 ・ 演 習		2		3							
	線 形 代 数 I		2		2							
	離 散 数 学		2		2							
	微 分 方 程 式		2		2							
	応 用 数 学		2			2						
	確 率 ・ 統 計		2		2							
物 理	物 理 学 入 門 ・ 演 習		2		3							
	基 礎 物 理 学		2			2						
	現 代 物 理 学		2		2							* 3
化学	基 礎 化 学		2		2							
生物	基 礎 生 物 学		2		2							
実 験	基 礎 実 験	1				3						
	化 学 実 験	1				3						
	自然科学科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する
	自然科学科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する
	計	2	22									

### ② 情報科目

区分	授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考	
		必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後		
情 報 基 礎 科 目	計 算 機 シ ス テ ム I		2		2							
	プ ロ グ ラ ミ ン グ		2		4							
	計 算 機 シ ス テ ム II		2			2						
	デ ー タ 構 造 と アル ゴ リ ズ ム		2			4						
	情 報 ネットワーク		2		2							
	プ ロ グ ラ ム 設 計		2		4							
	デ ー タ ベ ー ス B		2			2						
	ネットワークプログラミング		2			4						
情 報 専 門 科 目	コンピュータグラフィックスB		2				2					
	人 工 知 能		2				2					* 2
	数 値 計 算		2				2					* 2
	バイオシミュレーション		2					2				* 2
	バイオインフォマティクス		2					2				* 2
	計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ		2							2		
	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学		2							2		
	知 的 財 産 概 論		2				2					
	行 政 情 報 概 論		2							2		
	情 報 関 連 法 規		2							2		
	デ ー タ ベ ー ス 演 習	1						2				
	ネ ッ ト ワ ー ク 演 習	1						2				
	数 値 計 算 演 習	1							2			
	グ ラ フ ィ ッ ク ス 演 習	1							2			
	マルチメディア技術演習		1							2		
	計 算 機 通 論			2				2				
	情 報 工 学 通 論			2				2				
	情報科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する
	情報科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する
	計	4	37	4								

③ 対象分野科目

授 業 科 目	単 位			授 業 年 次 及 び 授 業 時 数						備 考
	必 修	選 必	選 択	3年・4年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	
生 命 情 報 工 学 入 門	1			2						
生 命 情 報 工 学 概 論	1			2						
バ イ オ 技 術 者 倫 理	1					2				
専 門 概 要	1						2			
化 学 熱 力 学 ・ 演 習		2			3					
有 機 化 学		2			2					
生 物 有 機 化 学		2		2						* 3
酵 素 工 学		2				2				* 4
分 子 設 計 基 礎		2					2			* 3
機 器 分 析		2				2				* 3
分 子 生 物 学		2			2					* 3
生 化 学		2		2						* 3
分 子 遺 伝 学		2			2					* 3
細 胞 生 物 学		2			2					* 3
生 体 情 報 学		2				2				* 3
生 化 数 学 ・ 演 習		2			3					
生 物 化 学 工 学		2			2					* 4
生 物 プ ロ セ ス シ ス テ ム 工 学		2				2				* 4
遺 伝 子 工 学		2					2			* 4
微 生 物 工 学		2				2				* 4
医 用 工 学		2					2			* 4
総 合 地 球 環 境 学		1				2				* 1
環 境 工 学		2					2			* 1
構 造 生 物 学		2				2				* 3
ラ イ フ サ イ エ ン ス 実 験 I	2					6				
ラ イ フ サ イ エ ン ス 実 験 II	2					6				
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 実 験 I	2						6			
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 実 験 II	2						6			
科 学 技 術 英 語 I	1					2				
科 学 技 術 英 語 II	1						2			
総 合 演 習		2						2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ			1							適宜開講
長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ			2							適宜開講。企業での研修時間が90時間以上のものを対象とする。
キ ャ リ ア 形 成 概 論			2	2						
卒 業 研 究	8							12	12	
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 I										選択必修科目の単位として個別に認定する
対 象 分 野 科 目 区 分 認 定 科 目 II										選択科目の単位として個別に認定する
計	22	41	5							

注)

- ① \* 1の科目の中から1科目以上修得すること。
- ② \* 2の科目の中から1科目以上修得すること。
- ③ \* 3の科目の中から3科目以上修得すること。
- ④ \* 4の科目の中から2科目以上修得すること。

### 別表 3 (第 7 条関係)

#### I 人間科学科目の卒業要件単位 (各学科共通)

人間科学科目で合計 28 単位を卒業要件単位として、32 単位までを卒業要件として認める。

科目区分		卒業要件単位	備 考
人 文 社 会 系 科 目		14 単位	
言 語 系 科 目	英 語	6 単位	必修科目の英語を 4 単位履修する 選択必修科目の英語を 2 単位履修する
	言 葉 と 文 化	2 単位	「言葉と文化Ⅰ」を履修する 「言葉と文化Ⅱ」のいずれか 1 科目を履修する
	選 択 必 修 科 目 ま た は 選 択 科 目 の 英 語	この中から 2 単位	ただし、左記の異なる科目区分から 1 単位 ずつ履修して、2 単位としてもよい
	新 修 外 国 語		
	日 本 語 表 現 技 法		
計	10 単位		
健 康 科 学 系 科 目		4 単位	
合 計		28 単位	

## II 各学科別の卒業要件単位

### 1 知能情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		別表3のI（各学科共通）に定める
自然科学科目	必修科目	19単位
	選択必修科目	4単位以上
情報科目	必修科目	27単位
	選択必修科目	8単位以上
対象分野科目	必修科目	17単位
	選択必修科目	8単位以上。ただし、推論分野から最低4単位（2科目）以上、メディア分野から最低4単位（2科目）以上を含むこと。
合計		卒業要件に加算される単位を合計して127単位以上

### 2 電子情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		別表3のI（各学科共通）に定める
自然科学科目	必修科目	23単位
	選択必修科目	2単位以上
情報科目	必修科目	11単位
	選択必修科目	6単位以上
対象分野科目	必修科目	18単位
	選択必修科目	*1の科目の中から7単位以上 *2の科目の中から5単位以上
合計		卒業要件に加算される単位を合計して127単位以上



### 3 システム創成情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		別表3のI（各学科共通）に定める
自然科学科目	必修科目	22単位
	選択必修科目	23単位
情報科目	必修科目	*1の科目の中から8単位以上
	選択必修科目	*2の科目の中から6単位以上 *3の科目の中から3単位以上 *4の科目の中から、創作プロジェクトI及びIIの4単位又は卒業研究8単位
対象分野科目		19単位
合計		卒業要件に加算される単位を合計して127単位以上

### 4 機械情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		別表3のI（各学科共通）に定める
自然科学科目	必修科目	22単位
	選択必修科目	2単位以上
情報科目	必修科目	13単位
	選択必修科目	6単位以上
対象分野科目	必修科目	32単位
	選択必修科目	10単位以上 ただし、*1の科目の中から4単位以上 *2の科目の中から4単位以上
合計		卒業要件に加算される単位を合計して127単位以上

## 5 生命情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		別表3のI（各学科共通）に定める
自然科学科目	必修科目	18単位
情報科目	必修科目	22単位
	選択必修科目	* 3の科目の中から1科目以上
対象分野科目	必修科目	32単位
	選択必修科目	* 2の科目の中から1科目以上 * 5の科目の中から2科目以上
人間科学科目 対象分野科目	選択必修科目	* 1の科目及び日本語表現技法A、Bの中から2科目以上
自然科学科目 対象分野科目	選択必修科目	* 4の科目の中から2科目以上
合 計		卒業要件に加算される単位を合計して 127 単位以上

別表 4 (第 7 条関係)

3 年次編入学生の各学科別卒業要件単位

1 知能情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		認定単位を含めて 28 単位とし、32 単位までを卒業要件単位として認める。
自然科学科目	必修科目	認定単位を含めて 12 単位
	選択必修科目	認定単位を含めて 10 単位以上
情報科目	必修科目	認定単位を含めて 10 単位
	選択必修科目	認定単位を含めて 18 単位以上
対象分野科目	必修科目	認定単位を含めて 15 単位
	選択必修科目	認定単位を含めて 10 単位以上
合計		認定単位を含めて 127 単位以上

2 電子情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		認定単位を含めて 28 単位とし、32 単位までを卒業要件単位として認める。
自然科学科目	必修科目	認定単位を含めて 14 単位
	選択必修科目	認定単位を含めて 10 単位以上
情報科目	必修科目	認定単位を含めて 6 単位
	選択必修科目	認定単位を含めて 10 単位以上
対象分野科目	必修科目	認定単位を含めて 18 単位
	選択必修科目	認定単位を含めて 13 単位以上
合計		認定単位を含めて 127 単位以上

### 3 システム創成情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		認定単位を含めて28単位とし、32単位までを卒業要件単位として認める。
自然科学科目	必修科目	認定単位を含めて8単位
	選択必修科目	認定単位を含めて14単位以上
情報科目	必修科目	認定単位を含めて6単位
	選択必修科目	認定単位を含めて25単位以上。ただし、*1の科目の中から6単位以上含むこと。
対象分野科目	必修科目	認定単位を含めて5単位
	選択必修科目	認定単位を含めて26単位以上。ただし、*2の科目の中から6単位以上、*3の科目の中から3単位以上、*4の科目の中から4単位以上含むこと。
合計		認定単位を含めて127単位以上

### 4 機械情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		認定単位を含めて28単位とし、32単位までを卒業要件単位として認める。
自然科学科目	必修科目	認定単位を含めて21単位
	選択必修科目	認定単位を含めて2単位以上
情報科目	必修科目	認定単位を含めて13単位
	選択必修科目	認定単位を含めて6単位以上
対象分野科目	必修科目	認定単位を含めて26単位
	選択必修科目	認定単位を含めて12単位以上。ただし、*印の6単位以上を必ず含むこと。
合計		認定単位を含めて127単位以上

## 5 生命情報工学科

科目区分	単位区分	卒業要件単位
人間科学科目		認定単位を含めて28単位とし、32単位までを卒業要件単位として認める。
自然科学科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
	選択必修科目	認定単位を含めて18単位以上
情報科目	必修科目	認定単位を含めて4単位
	選択必修科目	認定単位を含めて14単位以上。ただし、*2の科目の中から1科目以上含むこと。
対象分野科目	必修科目	認定単位を含めて22単位
	選択必修科目	認定単位を含めて12単位以上。ただし、*1の科目の中から1科目以上及び*4の科目の中から2科目以上含むこと。
自然科学科目 対象分野科目	選択必修科目	*3の科目の中から3科目以上
合計		認定単位を含めて127単位以上

## 別表5（第8条関係）

### I 各年次への進級要件

3年次進級要件	卒業要件に加算される単位を70単位以上修得すること
4年次進級要件	卒業要件に加算される単位を110単位以上修得し、さらに、各学科が各科目区分ごとに定める別表Ⅱの要件単位を修得すること

### Ⅱ 各科目区分ごとの4年次進級要件

学 科 区 分	修 得 す べ き 単 位 数 又 は 授 業 科 目	
各 学 科 共 通	人 間 科 学 科 目	24単位
知 能 情 報 工 学 科	自 然 科 学 科 目	必修科目 19単位
	情 報 科 目 対 象 分 野 科 目	・ 2年次までの必修科目 ・ 3年次の実験演習科目（必修科目）
電 子 情 報 工 学 科	自 然 科 学 科 目	・ 必修科目 23単位 ・ 選択必修科目 2単位以上
	情 報 科 目	・ 3年次までの必修科目 11単位 ・ 選択必修科目 6単位以上
	対 象 分 野 科 目	・ 2年次までの必修科目 ・ 3年次の実験科目（電子情報セミナーⅡを含む。） ・ *1の科目の中から7単位以上 ・ *2の科目の中から5単位以上
シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学 科	自 然 科 学 科 目	必修科目 22単位
	情 報 科 目	・ 3年次までの必修科目 ・ *1の科目の中から6単位以上
	対 象 分 野 科 目	・ 3年次までの必修科目 ・ *2の科目の中から4単位以上 ・ *3の科目の中から3単位以上
機 械 情 報 工 学 科	自 然 科 学 科 目 情 報 科 目 対 象 分 野 科 目	・ 2年次までの必修科目 ・ 3年次の実験・プロジェクト科目（必修科目）
生 命 情 報 工 学 科	自 然 科 学 科 目	必修科目 18単位
	情 報 科 目 対 象 分 野 科 目	・ 2年次までの必修科目 ・ 3年次の実験・演習科目（必修科目）

別表 6（第 8 条関係）

3 年次編入学生の各学科別 4 年次進級要件

学 科 名	修 得 す べ き 単 位 数 又 は 授 業 科 目
知 能 情 報 工 学 科	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計 110 単位以上。ただし 3 年次の必修の実験演習科目をすべて含むこと。
電 子 情 報 工 学 科	3 年次に履修すべきすべての必修科目の単位及び卒業要件に加算される単位を合計 30 単位以上
シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学 科	3 年次に履修すべきすべての必修科目の単位及び卒業要件に加算される単位を合計 30 単位以上
機 械 情 報 工 学 科	3 年次に履修すべきすべての必修科目の単位及び卒業要件に加算される単位を合計 30 単位以上
生 命 情 報 工 学 科	3 年次に履修すべきすべての必修科目の単位及び卒業要件に加算される単位を合計 30 単位以上

## 別表 7 (第 18 条関係)

### 教職課程

数学及び情報の免許を取得できる学科

(知能情報工学科、電子情報工学科、システム創成情報工学科、機械情報工学科、生命情報工学科)

教育職員の免許を取得するためには、教科に関する専門教育科目より 20 単位以上、教科又は教職に関する専門教育科目より 16 単位以上、教職に関する専門教育科目より 23 単位以上を修得するほかに、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目を必ず修得しておかなければならない。

### 教職に関する専門教育科目 (全学科共通) (数学、情報共通)

区 分	授 業 科 目	単 位	授 業 時 数								備 考	
			1 年		2 年		3 年		4 年			
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教職に関する専門教育科目	○教職論	2		2								
	○教育原理	2	2									
	○教育心理学	2			2							
	○教育社会学	2				2						
	○教科教育法 (情報) I	2						2				情報コース
	○教科教育法 (情報) II	2							2			情報コース
	○教科教育法 (数学) I	2						2				数学コース
	○教科教育法 (数学) II	2							2			数学コース
	○教育課程論	1			1							
	○特別活動の指導法	1			1							
	○教育方法	2						2				
	○教育工学	2						2				
	○生徒指導 (進路指導を含む。)	2				2						
	○教育相談	2				2						
	○教職実践演習	2								2		
○教育実習	3									3		

注)

- ① 上記の表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 各科目について、教職に関する専門教育科目より教科教育法 I 及び教科教育法 II を含む 16 単位以上、教科に関する専門教育科目及び教科又は教職に関する専門教育科目と併せて 24 単位以上、修得した者でなければ教育実習は履修できない。
- ③ 教育実習の 3 単位は、実習校での「教育実習」と、学部で開く「事前・事後指導」との二つの履修から成る。教育実習に行くためには、実習に行く前年度の 3 月に集中で開講される「事前指導」を受講しておかなければならない。
- ④ 教育実習に行くためには、別途に開講する「人権教育」を受講しておかなければならない。



教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（全学科共通）（数学、情報共通）

第 66 条の 6 に 定める科目	開設授業科目		備 考
	授業科目	単位数	
日 本 国 憲 法	法律学 A	2	
体 育	運動科学 I	1	
	運動科学 II	1	
外国語コミュニケーション	英語 I	1	
	英語 II	1	
情 報 機 器 の 操 作	プログラミング	2	

注) 上記表中の授業科目は、必ず修得しなければならない。

# 1 知能情報工学科

## (1) 数学の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
代 数 学	離散数学	2	2							1 単位	
	○線形代数Ⅰ	2	2								
	線形代数Ⅱ	2		2							
	代数学Ⅰ	2		2							
	代数学Ⅱ	2			2						
幾 何 学	グラフ理論	2			2					1 単位	
	○幾何学通論	2		2							
	幾何学Ⅰ	2			2						
	幾何学Ⅱ	2				2					
	パターン理解	2					2				
	コンピュータビジョンA	2						2			
解 析 学	○解析Ⅰ	2	2							1 単位	
	解析Ⅱ	2		2							
	微分方程式	2				2					
	応用解析	2			2						
確率論・統計学	○確率・統計	2			(2)		(2)			1 単位	
コ ン ピ ュ ー タ	○計算機リテラシーA	1	2							1 単位	
	オートマトンと言語理論	2		2							
	オブジェクト指向プログラミング・演習	2				4					
	論理と証明	2					2				
	人工知能プログラミング・演習	2					4				
	知能システム設計論	2					2				
	認知科学	2					2				
	ゲーム理論	2					(2)	(2)			
	情報媒体論	2					(2)	(2)			
	自然言語理論	2					(2)	(2)			
	言語分析法	2					(2)	(2)			
合 計									20 単位		

注) 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。

## (2) 情報の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
コンピュータ及び情報処理	コンピュータ	○計算機システムⅠ	2	2							1単位
		計算機システムⅡ	2		2						
		情報工学基礎実験ⅡA	1			3					
		論理数学A	2	2							
	情報処理	論理回路	2		2						
		データ構造とアルゴリズム	2		4						
		人工知能基礎A	2			2					
	アルゴリズム設計A	2				2					
情報システム		○プログラム設計	2			4				1単位	
		データベース理論	2				2				
		オペレーティングシステム	2				2				
		計算機アーキテクチャA	2			2					
		ソフトウェア工学A	2					2			
ネットワーク情報通信		○計算機ネットワーク	2				2			1単位	
		情報理論A	2					2			
		知能情報工学実験演習Ⅰ	1				3				
表現及び技術	表現	マルチメディア	2					2		1単位	
		知能情報工学実験演習Ⅱ	1					3			
	技術	情報メディアとコミュニケーション	2						2		
		知能情報工学実験演習Ⅲ	2						6		
情報社会及び情報倫理	社会	*コンピュータ革命と現代社会	2					(2)	(2)	1単位	
		*行政情報概論	2			2					
		*情報社会と教育	2						2		
	倫理	△情報法学	2					(2)	(2)		
		△情報倫理	2					(2)	(2)		
		△情報関連法規	2						2		
		△知的財産概論(注④)	2						2		
情報と職業		情報職業論	2					2		1単位	
		情報産業職業論	2						2		
		産業組織論	2					2			
合計										20単位	

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ③ 上記表中の△印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ④ 2年次までに開講される教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。

## 2 電子情報工学科

### (1) 数学の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
代 数 学	離散数学	2	2							1 単位	
	○線形代数Ⅰ	2	2								
	線形代数Ⅱ	2		2							
	代数学Ⅰ	2		2							
	代数学Ⅱ	2			2						
幾 何 学	○幾何学通論	2		2						1 単位	
	幾何学Ⅰ	2			2						
	幾何学Ⅱ	2				2					
解 析 学	○解析Ⅰ	2	2							1 単位	
	解析Ⅱ	2		2							
	微分方程式	2			2						
	応用数学	2				2					
	応用解析学	2					2				
確率論・統計学	○確率・統計	2			2					1 単位	
コ ン ピ ュ ー タ	* 論理設計	2			2					1 単位	
	○オペレーティングシステムE	2					2				
	* アルゴリズム設計E	2						2			
	情報理論E	2					2				
	ゲーム理論	2						(2)	(2)		
	情報媒体論	2						(2)	(2)		
	自然言語理論	2						(2)	(2)		
言語分析法	2						(2)	(2)			
合 計										20 単位	

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中で\*印の付いた授業科目の内、1科目選択必修。

## (2) 情報の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報処 理	コンピュータ	○計算機システムⅠ	2								1単位
		計算機システムⅡ	2	2							
		計算機アーキテクチャE	2		2						
	処 理	データ構造とアルゴリズム	2	4							
		オートマトン理論	2	2							
情報システム	○プログラム設計	2		4						1単位	
	データベースE	2			2						
	オブジェクト指向プログラミング	2		2							
ネット ワーク 通信	情報	○計算機通信基礎	2		2					1単位	
		電子情報工学実験Ⅰ	1		3						
		通信理論	2			2					
		ネットワークアーキテクチャ	2			2					
		ネットワークセキュリティ	2				2				
表現 及び 技術	表現	コンピュータグラフィックスE	2			2				1単位	
		電子情報工学実験Ⅱ	1			3					
		デジタルコンテンツ	2				2				
	技術	デジタル信号処理	2			2					
		通信機器	2		(2)	(2)		(2)			
		情報メディアとコミュニケーション	2				2				
情報社会 及び 情報倫理	社会	*コンピュータ革命と現代社会	2			(2)	(2)			1単位	
		*行政情報概論(注④)	2					2			
		*情報社会と教育	2				2				
	倫理	△情報法学	2			(2)	(2)				
		△情報倫理	2			(2)	(2)				
		△情報関連法規(注④)	2					2			
		△知的財産概論	2				2				
情報と職業	情報職業論	2			2				1単位		
	情報産業職業論	2				2					
	産業組織論	2			2						
合計									20単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ③ 上記表中の△印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ④ 「教職実践演習」及び「教育実習」を除く教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。

### 3 システム創成情報工学科

#### (1) 数学の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
代 数 学	離散数学	2		2						1 単位	
	○線形代数Ⅰ	2	2								
	線形代数Ⅱ同演習	2		4							
	代数学Ⅰ	2		2							
	代数学Ⅱ	2			2						
幾 何 学	○幾何学通論	2		2						1 単位	
	幾何学Ⅰ	2			2						
	幾何学Ⅱ	2				2					
解 析 学	○解析Ⅰ同演習	2	4							1 単位	
	解析Ⅱ	2		2							
	微分方程式	2			2						
	応用数学	2			2						
	システムダイナミックス	2				2					
確 率 論 ・ 統 計 学	確率論	2			2					1 単位	
	○統計とデータ解析	2					2				
	信号処理Ⅰ	2				2					
	信号処理Ⅱ	2					2				
コ ン ピ ュ ー タ	○計算機活用入門	1	2							1 単位	
	* 電気回路	2			2						
	* 数値計算	2					2				
	* 電子回路S	2						2			
	システム制御基礎論	2					2				
	システム制御設計論	2						2			
	現代システム制御論	2					2				
	ゲーム理論	2					(2)	(2)			
	情報媒体論	2					(2)	(2)			
	自然言語理論	2					(2)	(2)			
言語分析法	2					(2)	(2)				
合 計									20 単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中で\*印の付いた授業科目の内、1科目選択必修。

## (2) 情報の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報処理 コンピュータ及び 処理情報	コンピュータ	○計算機システムⅠ	2	2							1単位
		計算機システムⅡ	2		2						
		システム創成プロジェクトⅡ	1.5				3				
		離散構造論	2			2					
		データ構造とアルゴリズム	2		4						
		アルゴリズム設計S	2				2				
情報システム		○プログラム設計	2		4					1単位	
		データベースS	2			2					
		オペレーティングシステムS	2				2				
ネットワーク 情報通信		○計算機ネットワーク	2				2			1単位	
		システム創成プロジェクトⅠ	1.5				3				
		通信工学	2				2				
		情報理論S	2			2					
表現及び メディア 技術	表現	コンピュータグラフィックスS	2				2			1単位	
		シミュレーション物理	2		3						
	技術	マルチメディア工学概論	2					2			
		画像情報処理	2				2				
		プログラミング応用S	2	4							
情報メディアとコミュニケーション	2					2					
情報社会及び 情報倫理	社会	* コンピュータ革命と現代社会	2				(2)	(2)		1単位	
		* 行政情報概論(注④)	2						2		
		* 情報社会と教育	2					2			
	倫理	△情報法学	2				(2)	(2)			
		△情報倫理	2				(2)	(2)			
		△情報関連法規(注④)	2						2		
		△知的財産概論(注⑤)	2					2			
情報と職業		情報職業論	2				2			1単位	
		情報産業職業論	2					2			
		産業組織論	2				2				
合計									20単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ③ 上記表中の△印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ④ 「教職実践演習」及び「教育実習」を除く教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。
- ⑤ 2年次までに開講される教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。

#### 4 機械情報工学科

##### (1) 数学の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
代 数 学	離散数学	2	2							1 単位	
	○線形代数Ⅰ・同演習	2	4								
	線形代数Ⅱ・同演習	2		4							
	代数学Ⅰ	2		2							
	代数学Ⅱ	2			2						
幾 何 学	CADとデザインⅠ	1			3					1 単位	
	CADとデザインⅡ	2				4					
	○幾何学通論	2		2							
	幾何学Ⅰ	2			2						
	幾何学Ⅱ	2				2					
解 析 学	○解析Ⅰ・同演習	2	4							1 単位	
	解析Ⅱ・同演習	2		4							
	微分方程式	2			2						
	流れ学Ⅰ	2			2						
	熱流動システム	2					2				
	機械数学	2				2					
	CAE・演習	2						4			
確率論・統計学	○確率・統計	2					2			1 単位	
コ ン ピ ュ ー タ	○計算機リテラシーM	1	2							1 単位	
	電気回路M	2				2					
	システム動力学Ⅱ	2						2			
	*数値計算	2				2					
	*電子回路M	2				2					
	流れ学Ⅱ	2					2				
	計算熱流体工学	2						2			
	ゲーム理論	2					(2)	(2)			
	情報媒体論	2					(2)	(2)			
	自然言語理論	2					(2)	(2)			
	言語分析法	2					(2)	(2)			
合 計									20 単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中で\*印の付いた授業科目の内、1科目選択必修。



## (2) 情報の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目		授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
				1年		2年		3年		4年		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
コンピュータ及び情報処理	コンピュータ	○計算機システムⅠ	2			2					1単位	
		計算機システムⅡ	2			2						
	情報処理	オブジェクト指向開発	2			2						
		システム計測	2				2					
		制御基礎Ⅰ	2				2					
		制御基礎Ⅱ	2					2				
		論理数学M	2		2							
		データ構造とアルゴリズム	2		4							
情報システム		データベースM	2			2				1単位		
		組込みシステムⅠ	2				2					
		○プログラム設計	2			4						
情報通信ネットワーク		○情報通信ネットワーク	2				2			1単位		
表現及び技術	表現	○プログラミング応用M	2						2	1単位		
		技術	△マルチメディア技術	2				2				
	有限要素法の基礎		2				2					
	△情報メディアとコミュニケーション		2					2				
情報社会及び情報倫理	社会	◇コンピュータ革命と現代社会	2				(2)	(2)		1単位		
		◇行政情報概論(注⑤)	2				(2)		(2)			
		◇情報社会と教育	2					2				
	倫理	■情報法学	2				(2)	(2)				
		■情報倫理	2				(2)	(2)				
		■情報関連法規(注⑤)	2						2			
		■知的財産概論(注⑥)	2						2			
情報と職業		情報職業論	2				2			1単位		
		情報産業職業論	2					2				
		産業組織論	2				2					
合計										20単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中の△印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ③ 上記表中の◇印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ④ 上記表中の■印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ⑤ 「教職実践演習」及び「教育実習」を除く教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。
- ⑥ 2年次までに開講される教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。

## 5 生命情報工学科

### (1) 数学の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目	授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
代数学	離散数学	2	2							1単位	
	○線形代数Ⅰ	2	2								
	代数学Ⅰ	2		2							
	代数学Ⅱ	2			2						
幾何学	○幾何学通論	2		2						1単位	
	幾何学Ⅰ	2			2						
	幾何学Ⅱ	2				2					
解析学	○解析基礎・演習	2	3							1単位	
	微分方程式	2			2						
	応用数学	2				2					
	生化数学・演習	2				3					
確率論・統計学	○確率・統計	2			2					1単位	
コンピュータ	*人工知能	2				2				1単位	
	○数値計算	2				2					
	*バイオインフォマティクス	2					2				
	ゲーム理論	2				(2)	(2)				
	情報媒体論	2				(2)	(2)				
	自然言語理論	2				(2)	(2)				
	言語分析法	2				(2)	(2)				
合計									20単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中で\*印の付いた授業科目の内、1科目選択必修。

## (2) 情報の教科に関する専門教育科目

教科に関する専門教育科目		授業科目	単位	授業時数								最低修得単位数
				1年		2年		3年		4年		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報処理 コンピュータ及び 処理	コンピュータ	○計算機システムⅠ	2	2							1単位	
		計算機システムⅡ	2		2							
		データ構造とアルゴリズム	2		4							
		計算機アーキテクチャ	2							2		
	情報	数値計算演習	1					2				
		バイオシミュレーション	2					2				
情報システム	データベースB	2				2				1単位		
	○プログラム設計	2			4							
	データベース演習	1					2					
	ソフトウェア工学	2							2			
ネットワーク	情報通信	○情報ネットワーク	2			2				1単位		
		ネットワークプログラミング	2			4						
		ネットワーク演習	1					2				
表現及び技術	表現	コンピュータグラフィックスB	2					2		1単位		
		グラフィックス演習	1					2				
	技術	*マルチメディア技術演習	1						2			
		*情報メディアとコミュニケーション	2						2			
情報社会及び情報倫理	社会	△コンピュータ革命と現代社会	2					(2)	(2)	1単位		
		△行政情報概論(注⑤)	2						2			
		△情報社会と教育	2						2			
	倫理	◇情報法学	2					(2)	(2)			
		◇情報倫理	2					(2)	(2)			
		◇情報関連法規(注⑤)	2								2	
		◇知的財産概論(注⑥)	2						2			
情報と職業	情報職業論	2					2			1単位		
	情報産業職業論	2						2				
	産業組織論	2					2					
合計										20単位		

注)

- ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
- ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ③ 上記表中の△印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ④ 上記表中の◇印の付された授業科目の内、1科目選択必修。
- ⑤ 「教職実践演習」及び「教育実習」を除く教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。
- ⑥ 2年次までに開講される教職に関する専門教育科目をすべて修得した場合に限り履修可。

6 教科又は教職に関する専門教育科目（全学科共通）

(1) 数学の教科又は教職に関する専門教育科目

教科又は教職に関する専門教育科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
教科又は教職に関する専門教育科目最低修得単位数	16									「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低取得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について16単位以上修得

(2) 情報の教科又は教職に関する専門教育科目

教科又は教職に関する専門教育科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
教科又は教職に関する専門教育科目最低修得単位数	16									「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低取得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について16単位以上修得

別表 8 (第 18 条の 2 関係)

IIF プログラム履修課程表

授 業 科 目	単 位	授 業 年 次 及 び 授 業 時 数								備 考
		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
○実践英語 101	1	2								
○実践英語 102	1		2							
○実践英語 201	1			2						
○実践英語 202	1				2					
○上級実践英語 301	1					2				
○上級実践英語 302	1						2			
○上級実践英語 400	1							(2)	(2)	
○クラスワーク 101	1	1								
○クラスワーク 102	1		1							
○クラスワーク 201	1			1						
○クラスワーク 202	1				1					
○クラスワーク 301	1					1				
○クラスワーク 302	1						1			
○クラスワーク 400	1							(1)	(1)	
海外研修	1	(2)	(2)	(2)	(2)					
留学	2					(3)	(3)	(3)	(3)	
○Sciences in English	1	(2)		(2)		(2)		(2)		隔年開講
○Computer Literacy	1				(2)		(2)			
○プロジェクトマネジメント 301	1					2				
○プロジェクトマネジメント 302	1						2			
○エンジニアリングエコノミクス	2					(2)	(2)	(2)	(2)	

注) ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。

② 「海外研修」は、その学修内容により、「英語 T1S」「英語 T1F」「英語 T2S」「英語 T2F」「英語 T3S」又は「英語 T3F」の単位として認めることがある。

③ 「留学」を修得した者は、修了証明書に明記する。

別記様式第1号（第9条・第17条の2関係）

## 履修申告カード

年度		期	
曜日・時限・クラス番号	曜・	限・	クラス
科目名・単位			単位
教員名			教員

追加理由（詳細に）
-----------

所属学科・年次	工学科	年次
学生番号		
氏名		

授業担当教員
確認印

教務係 確認欄

◎授業担当教員の確認印を得た上で、教務係へ提出のこと。

授業担当教員 殿

履修登録の追加を承認される場合は、お手数ですが、学生の氏名・学生番号をお手持ちの履修者名簿へ記入頂きますようお願いいたします。

別記様式第2号（第9条関係）

## 期間外履修申告カード

年度		期	
曜日・時限・クラス番号	曜・	限・	クラス
科目名・単位			単位
教員名			教員

遅延理由および追加理由（詳細に）
------------------

所属学科・年次	工学科	年次
学生番号		
氏名		

授業担当教員
確認印

教務係 確認欄

◎授業担当教員の確認印を得た上で、教務係へ提出のこと。

授業担当教員 殿

履修登録の追加を承認される場合は、お手数ですが、学生の氏名・学生番号をお手持ちの履修者名簿へ記入頂きますようお願いいたします。

### 履修申告取消しカード

年度 期

曜日・時限・クラス番号	曜・限・クラス	取消理由（詳細に）
科目名・単位	単位	
教員名	教員	

所属学科・年次	工学科	年次	授業担当教員	教務係 確認欄
学 生 番 号	確認印			
氏 名				

◎授業担当教員の確認印を得た上で、教務係へ提出のこと。

授業担当教員 殿

履修申告の取り消しを承認される場合は、お手数ですが、学生の氏名・学生番号をお手持ちの履修者名簿から削除頂きますようお願いいたします。

## 上級年次の授業科目の履修願

年度 期

曜 日 ・ 時 限	
科 目 名 ・ ク ラ ス 番 号	
教 員 名	
所 属 学 科	
学 生 番 号	
氏 名	

所 属 学 科 の 教 務 委 員 ・ 学 年 担 当 教 員	確 認 印	授 業 担 当 教 員	確 認 印
---------------------------------------	-------	-------------	-------

○ 上記科目の履修が必要な理由

---



---



---



---



---



---



---

- ☆ 授業担当教員が非常勤講師の場合は、確認印は必要ない。
- ☆ 授業担当教員（非常勤講師を除く）、教務委員の確認印がない場合は受け付けない。
- ☆ 記入漏れの無いよう注意すること。記入漏れがある場合は受け付けない。
- ☆ 受講者数等の理由により履修できない場合は掲示により通知する。
- ☆ この用紙は、 月 日（ ）までに所定の場所に提出すること。



上限単位数を超える授業科目の履修願

年度 期

曜 日 ・ 時 限	
科目名・クラス番号	
教 員 名	
所 属 学 科	
学 生 番 号	
氏 名	

所 属 学 科 の 教 務 委 員 ・ 学 年 担 当 教 員	確認印	授 業 担 当 教 員	確認印
---------------------------------------	-----	-------------	-----

○ 上記科目を履修が必要な理由

---



---



---



---



---



---



---

- ☆ 授業担当教員が非常勤講師の場合は、確認印は必要ない。
- ☆ 授業担当教員（非常勤講師を除く）、教務委員の確認印がない場合は受け付けない。
- ☆ 記入漏れの無いよう注意すること。記入漏れがある場合は受け付けない。
- ☆ 受講者数等の理由により履修できない場合は掲示により通知する。
- ☆ この用紙は、 月 日（ ）までに所定の場所に提出すること。

年 月 日

## 成績評価に対する異議申し立て書

情報工学部長 殿

私が履修した科目の成績について、下記のとおり異議を申し立てます。

所属学科

学生番号

氏 名

印

年度 期

科目名・クラス番号	
教 員 名	

○ 異議申し立て内容

---

---

---

---

---

---

---

---

- ・ 記入漏れの無いよう注意すること。記入漏れがある場合は受け付けない。

教務係確認欄 (科目担当教員への問い 合わせの有無)
有 ・ 無

他学科科目（所属学科の履修課程表にない授業科目）履修願

年度 期

曜 日 ・ 時 限	
科目名・クラス番号	
教 員 名	
所 属 学 科	
学 生 番 号	
氏 名	

所 属 学 科 の 教 務 委 員 ・ 学 年 担 当 教 員	確認印	授 業 担 当 教 員	確認印
---------------------------------------	-----	-------------	-----

※ 教務委員認定欄（必要な場合のみ記入・押印）

「 \_\_\_\_\_ 」の読替科目として認定 確認印

○ 上記科目の履修が必要な理由

---



---



---



---



---



---



---

- ☆ 授業担当教員が非常勤講師の場合は、確認印は必要ない。
- ☆ 授業担当教員（非常勤講師を除く）、教務委員の確認印がない場合は受け付けない。
- ☆ 記入漏れの無いよう注意すること。記入漏れがある場合は受け付けない。
- ☆ 受講者数等の理由により履修できない場合は掲示により通知する。
- ☆ この用紙は、 月 日（ ）までに所定の場所に提出すること。

## 他学部の授業科目の履修願

年度 期

曜 日 ・ 時 限	
科 目 名 ・ ク ラ ス 番 号	
教 員 名	
所 属 学 科	
学 生 番 号	
氏 名	

所 属 学 科 の 教 務 委 員 ・ 学 年 担 当 教 員	確認印	工 学 部 の 授 業 担 当 教 員	確認印
---------------------------------------	-----	------------------------	-----

※ 教務委員認定欄（必要な場合のみ記入・押印）

「 \_\_\_\_\_ 」の読替科目として認定 確認印

○ 上記科目の履修が必要な理由

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

☆ 授業担当教員、教務委員の確認印がない場合は受け付けない。

☆ 記入漏れの無いよう注意すること。記入漏れがある場合は受け付けない。

☆ この用紙は、 月 日（ ）までに所定の場所に提出すること。

年 月 日

\_\_\_\_\_ 学科

教務委員 \_\_\_\_\_ 印

## 単 位 認 定 取 下 げ 願

下記のとおり、単位認定を取下げます。

記

学生番号 \_\_\_\_\_ 学生氏名 \_\_\_\_\_

科目名 \_\_\_\_\_

## 2. 修学上の注意事項について

### 1. 教育課程について（学修細則第3条、第5条）

- (1) 情報工学部の教育課程は、人間科学科目、自然科学科目、情報科目及び対象分野科目の4つの科目区分により構成されています。
- (2) 授業科目には、必修科目、選択必修科目、選択科目及び査定外科目の4種類の査定区分があります。  
必修科目は、卒業までに単位を修得する必要がある授業科目です。  
選択必修科目は、科目区分ごとに設定された選択必修科目群の中から選択して履修し、科目区分ごとに設定された要件単位以上の単位を卒業までに修得する必要がある授業科目です。
- (3) 学生は、教育課程を修了するためには、所属学科の履修課程表に従って授業科目を履修し、卒業要件に加算される単位を合計して127単位以上修得し、さらに、各科目区分ごとに設定されている卒業要件単位以上の単位を修得しなければなりません。
- (4) 身体に障害を持つ学生については、特定の必修科目の履修が困難な場合、教務委員会が指定する他の代替科目の単位を、当該必修科目の単位に読み替えることができます。

### 2. 履修課程表について（学修細則第5条、第6条）

- (1) 1年次から入学した学生は、所属学科の履修課程表（98頁－112頁）に従って、各科目区分の授業科目を履修する必要があります。
- (2) 3年次に編入した学生は、所属学科の3年次編入学生用の履修課程表（113頁－123頁）に従って、各科目区分の授業科目を履修する必要があります。
- (3) 学生は、履修課程表に定められている履修年次に従って各授業科目を履修する必要があります。

### 3. 上級年次への進級について（学修細則第8条）

- (1) 1年次から入学した学生は、2年次から3年次に進級するためには、卒業要件に加算される授業科目の単位を、合計して70単位以上修得する必要があります。
- (2) 1年次から入学した学生は、3年次から4年次に進級するためには、卒業要件に加算される授業科目の単位を、合計して110単位以上修得し、さらに、各科目区分ごとに設定された4年次進級要件（131頁）以上の単位を修得する必要があります。
- (3) 3年次に編入した学生は、4年次に進級するためには、3年次編入学生用の4年次進級要件（132頁）以上の単位を修得する必要があります。
- (4) 病気や留学などの正当なやむを得ない理由により、進級に必要な単位数を修得することができなかった学生については、教務委員会が、学生にとって教育上有益であると認める場合は、単位が不足していても上級年次への進級を許可することがあります。

### 4. 指導教員及び学年担当教員について（学修細則第24条）

- (1) 学生は、教育課程の履修方法や授業科目の選択方法に関して、必要に応じ、指導教員又は学年担当教員による勉学上のアドバイスを求める事ができます。
- (2) 勉学上の目的を持って、上級年次の授業科目や他学科の授業科目の履修を希望する学生には、履修方法や授業科目の選択方法等について指導教員又は学年担当教員に相談し、アドバイスを受けることを勧めます。
- (3) 進級に必要な単位数を順調に修得することができない学生は、なるべく早い時期に（留年が確定する前に）指導教員又は学年担当教員を訪問し、今後の勉学の進め方や授業科目の選択方法等に関して、アドバイスを受

けることを勧めます。

- (4) 各学生を担当する指導教員の氏名は、教務情報システムの「学籍情報」ツールに表示されます。

## 5. 履修申告について

### ア 授業計画（シラバス）（学修細則第4条）

講義などの要旨（講義内容・教育方針・成績評価方法など）については、次の URL を参照してください。

URL : <http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/syllabus/frame.html>

### イ 履修申告（学修細則第9条）

- (1) 学生は、各学期に履修しようとする授業科目について、その学期の定められた履修申告期間に履修申告を行う必要があり、履修申告をしていない授業科目は受講することができません。

なお、各学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、24 単位となっています。しかし、この 24 単位の中には、授業期間以外に開講する集中講義等は、この上限に含まれません。

通年の授業科目については、前期の履修申告期間に履修申告を行う必要があります。

#### （履修登録単位を制限することについて）

大学での授業科目は、1 単位あたり 45 時間の学修を必要とする内容で構成することが標準となっています。講義については 15 時間の授業で 1 単位、演習や実習、外国語、体育実技については 30 時間の授業で 1 単位、実験については 45 時間の授業で 1 単位としているのが大部分です。例えば、1 単位の外国語科目を履修する場合には、45 時間から 30 時間を差し引いた残りの 15 時間は、授業時間外（教室外）の学修が必要となります。この教室外の学修は学生が自主的に行い、学力の充実をはからなければなりません。

授業時間外での学修時間を十分に確保して内容の濃い学修を進めることができるように、履修科目として登録できる単位数の上限を各学期あたり 24 単位に定めています。（授業時間外に開講する不定期授業（集中講義）の単位並びに夏季及び冬季の休業期間に開設される実習の単位は上限に含まれません。）

学生は、この制度の趣旨をよく理解し、授業時間外において、課題の遂行や授業の予習・復習の学修に努めてください。

- (2) 複数クラスを開講する授業科目の場合等には、掲示、ガイダンス等を行って学生を振り分けることがあるので、担当教員の指示に従って履修申告を行ってください。
- (3) 学生は、既に単位を修得した授業科目については、再度の履修申告をすることはできません。
- (4) 集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目については、各授業科目ごとに掲示される履修申告締切り期日までは「履修申告カード」（別記様式第 1 号）を教務係に提出することにより、履修申告を行うことができます。
- (5) やむを得ない正当な理由により、履修申告期間及び修正申告期間に履修申告をすることができなかった学生は、教務係に申し出てください。教務係で渡される「期間外履修申告カード」（別記様式第 2 号）に必要事項を記載した後、教務委員及び当該科目の授業担当教員（以下「授業担当教員」という。）が許可する場合に限り、期間外の履修申告を行うことができます。

### ウ 修正申告（学修細則第9条、第10条）

- (1) 修正申告期間は、通常、授業開始の第 1 週目に設定されます。
- (2) 授業に出席した上で、履修する授業科目を変更することにした場合には、修正申告期間に申告科目の修正（申告科目の追加及び取り消し）を行ってください。
- (3) 修正期間終了後に履修の取消しすることにした場合は、修正期間終了後 1 ヶ月以内に履修申告の取消しを行ってください。教務係で渡される「履修申告取消しカード」（別記様式第 3 号）に必要事項を記載した後、

教務係に提出してください。

- (4) 集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目の場合には、各授業科目ごとに掲示される履修申告取消し期日までは、履修申告の取消しを行うことができます。
- (5) 正当な理由により、定められた期間内に履修の取消しをすることができなかった学生は、教務委員及び授業担当教員の許可を受けた上で「履修申告取消しカード」(別記様式第3号)教務係に提出することにより、履修申告の取消しを行うことができます。
- (6) 出席調査等に用いられる「履修者名簿」は、学生の履修申告に基づき作成されます。履修者名簿を正確な名簿にするため、履修をしない授業科目については、必ず履修申告の取消しを行ってください。

エ 他学科が開講する学科共通の授業科目の履修(学修細則第9条、第11条)

- (1) 他学科が開講する授業科目であっても、それが所属学科の開講科目と共通の科目名である場合には、所属学科の開講科目と同じように履修することができます。  
ただし、学部共通の授業科目の中には、講義室の収容人員等の関係で、他学科学生の履修を制限している科目があります。この場合、他学科の学生は履修申告ができません。
- (2) 上記の授業科目の履修を希望する学生は、教務係の用意する「履修を制限する授業科目の受講願」を受け取り、教務委員及び授業担当教員の許可を受けた上で、教務係に提出してください。

オ 他学科科目の履修(学修細則第16条)

- (1) 「他学科科目」とは、所属学科以外の学科が開講する授業科目で、所属学科の履修課程表には記載されていない授業科目のことをいいます。
- (2) 他学科科目の履修を希望する学生は、まず、教務情報システムの「履修登録」ツールにより、その授業科目を査定外科目(卒業要件単位に加算されない科目)として履修申告してください。
- (3) 次に、教務係の用意する「他学科科目(所属学科の履修課程表にない授業科目)の履修願」(別記様式第7号。以下「他学科科目の履修願」という。)を受け取り、教務委員及び授業担当教員の許可を受けた上で、教務係に提出してください。
- (4) 教務委員は、その他学科科目の履修が、学生にとって教育上有益であり、かつ、学科の卒業要件単位に加算することがふさわしいと認めた場合に限り、履修を許可します。
- (5) 授業担当教員は、履修希望者数が授業科目の受け入れ限度を超えた場合には、履修を希望する他学科学生の一部を許可しない場合があります。  
学生は、担当教員により履修申告を許可されなかった場合には、その授業科目の履修申告を取消す必要があります。
- (6) 「他学科科目の履修願」を受理された授業科目は、科目の分類上は、(開講学科の自然科学科目や情報科目であったとしても)所属学科の対象分野科目区分の選択科目とみなされ、試験に合格すれば、開講学科の履修課程表に記載された単位数が与えられます。  
なお、「他学科科目の履修願」が受理された科目については、修正申告期間の終了後に、その科目の分類が「他学科の選択科目(対象分野科目区分)」と表示されるようになります。

カ 上級年次の授業科目の履修(学修細則第12条)

- (1) 正当な理由により、自分の在籍する年次を超える履修年次の授業科目を希望する学生は、教務係で「上級年次の授業科目の履修願」(別記様式第4号)を受け取り、教務委員及び授業担当教員の許可を受けて、教務係に提出してください。



- (2) 教務委員は、上級年次の授業科目の履修が学生にとって教育上有益であり、また、履修を希望する理由が正当なものであると認める場合には、履修を許可します。
- (3) ただし、原級留置（留年）のある学生の場合、選択必修科目及び選択科目については、すべての原級留置がないと仮定した年次を在籍年次とみなし、履修申告をすることができます。

#### キ 工学部の授業科目の履修（学修細則第 17 条）

- (1) 工学部の授業科目の履修を希望する学生は、教務係で「他学部の授業科目の履修願」（別記様式第 8 号）を受け取り、教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で、履修申告期間内に教務係に提出してください。
- (2) 履修願が受理された工学部の授業科目の単位は、所属学科の対象分野科目区分の選択科目の単位として、進級要件単位や卒業要件単位に加算されます。

#### ク 大学院の授業科目の履修（学修細則第 17 条の 2）

- (1) 3 年次以上の学生で大学院情報工学府の授業科目の履修を希望する学生は、教務係で「履修申告カード」（別記様式第 1 号）を受け取り、教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で、履修申告期間内に教務係に提出してください。
- (2) 履修が許可された大学院の授業科目の単位は、進級要件単位や卒業要件単位には加算されません。ただし、大学院に進学する場合には、大学院の修了要件単位として加算されることがあります。
- (3) 履修できる単位数は、卒業までに 6 単位までです。

## 6. 授業アンケートについて（学修細則第 23 条）

- (1) 授業アンケートは、体育実技や実験などの一部の科目を除いて、授業内容を改善する目的で行われます。
- (2) 授業アンケートの実施時には、回答にご協力をお願いします。

## 7. 試験について

#### ア 試験の実施について（学修細則第 13 条）

- (1) 成績評価のために試験は、各学期の期末試験期間に実施します。ただし、授業科目によってはそれ以外の時期に試験を行うこともあります。
- (2) 各授業科目の試験実施の日時及び講義室等については、所定の掲示スペースにその都度掲示されます。また、期末試験の 2 週間前には、全ての履修申告科目の試験日時及び講義室が、教務情報システムの「期末試験」ツールに表示されます。
- (3) 不正行為を防止するため、試験を受ける際には、机の上に学生証を提示しなければなりません。

#### イ 試験の結果について（学修細則第 13 条、14 条）

- (1) 試験の結果は、100 点満点で評価します。
- (2) 試験の結果が 60 点以上あれば「合格」と判定され、試験の結果が当該授業科目の成績評価となります。
- (3) 試験の結果が 1 点～59 点であれば「再試験」と判定され、成績評価は一時保留になり、再試験の結果によって成績評価を定めることとなります。
- (4) 試験の結果が 0 点であれば、「不合格」と判定されます。
- (5) 試験の結果は（合格、再試験又は不合格）は、教務情報システムの「教務情報」ツールに表示されます。
- (6) 教務情報システムで、試験の結果が「(仮) ○○点」と表示されている段階では、成績評価は確定されていません。いつまでも仮のまま表示されている場合には、授業担当教員へ問い合わせてください。

ウ 学期末・学年末試験で不合格になった場合の措置について（学修細則第 15 条）

- (1) 再試験は、実施しません。
- (2) ただし、授業科目の総授業時間数の 3 分の 2 以上の授業に出席して不合格となった学生のうち、授業担当教員が必要と認めた場合に限り、試験その他の方法による確認の後、成績の修正が行われることがあります。

エ 試験における不正行為について（学修細則第 26 条）

- (1) 試験において不正行為のあった者に対しては、学修細則第 26 条に基づき、処分を受けることとなります。
- (2) 厳しい処分を受けることになった場合、留年が確定することや、退学しなければならないこともあります。不正行為を行わないよう学生相互で注意しあい、厳に慎むよう心がけましょう。

## 8. 学力不振者の除籍について（学修細則第 25 条）

- (1) 2 年次の学生で、連続する 2 年間（休学期間は除く。）に学修細則の第 25 条に定める単位数を修得していない者は、「学力不振で成業の見込のない者」と見なされ、学則第 29 条第 4 号に定める除籍に関する審査の対象者となります。
- (2) 病気や留学などのやむを得ない正当な理由により、上記の単位数を修得できなかった学生については、教務委員会が認める場合には、除籍に関する審査の対象者とはしません。

## 9. 学生に対する掲示及び事務連絡について

- (1) 学生に対する公示、通知、呼び出し等は、あらかじめ指定した掲示スペースに掲示されます。重要な掲示を見落として、自己に不利益な結果を招くことのないよう、掲示を注意して見るようにしてください。
- (2) 今後は、学生に対する教員や事務担当者からの連絡や呼び出しには、電子メールが多用されるようになりますので、自分宛ての電子メールは、定期的に読む習慣を身につけてください。
- (3) 教員や事務担当者から学生宛てに発信される電子メールは、情報科学センターの計算機に登録されている学生アカウント宛てに送信されます。

### 3. 教務情報システムについて

#### ア 教務情報システムの概要

(1) 教務情報システムは、教務関連の情報を提供するものです。以下の情報を閲覧することができます。

- ・ 各授業科目の授業内容（シラバス）
- ・ 授業時間割
- ・ 教務関連の行事日程
- ・ 学生個人の履修申告状況、成績、出欠情報、学籍情報等

また、授業科目を履修申告する場合も、教務情報システムを利用します。（履修申告の方法は、次頁を参照してください。）

(2) 教務情報システムが利用できる端末（以下「専用端末」という。）は、以下の場所に設置しています。

- ・ 共通教育研究棟1階ロビー（教務係前ロビー）
- ・ 共通教育研究棟2階ロビー
- ・ 福利棟1階
- ・ 図書館2階のブラウジングコーナー

ただし、教務情報システムを起動するためには、情報科学センターのIDとパスワードを入力して、専用端末にログインしておく必要があります。

(3) 教務情報システムは、個人情報を取り扱いますので、起動時には、学生本人の学生番号と教務情報システムのパスワード（専用端末にログインするためのID・パスワードとは別です。）による個人認証（本人確認）が要求されます。

#### ※ 教務情報システムのパスワードについて

教務情報システムには、あなたの個人情報（成績など）が入っています。パスワードは、あなたの個人情報を守る唯一の鍵です。パスワードを守るのはあなた自身の責任です。以下の注意事項を読んで、適切なパスワードを設定してください。

1. 他のシステム（特に情報科学センター）と同じパスワードにしないこと。
2. 他人が想像できるようなパスワードにしないこと。
3. 数字だけ、英字だけ、IDと同じ、というようなパスワードにしないこと。
4. パスワードに特殊な文字が含まれたり（特にタブやスペース等）、6文字以下に変更した場合、教務情報システムが正しく作動しないことがあるため、特殊な文字は使用せず、7文字以上のパスワードにすること。

速やかに、上の条件を満たすあなた自身のパスワードに変更してください。

パスワードを忘れた場合、システム管理者（教務係）で、もう一度乱数を使って新たなパスワードを設定します。

(4) 個人認証にあたって、パスワードが3回以上間違えて入力された場合、教務情報システムは安全のために、その当日に限って、認証を求めた学生に対する教務情報サービスをすべて停止します。

◎ 平成25年度後期以降に新教務情報システム（ライブキャンパス）が導入される予定です。

## イ 履修申告について

- (1) 履修申告は、教務情報システムの「履修登録」ツールを使って、履修申告科目を選択し、「選択した科目を仮履修登録する」をクリックします。教務情報システムへのログインまでの流れは、次頁を参照してください。

	1 時 限 目	2 時 限 目	3 時 限 目	4 時 限 目	5 時 限 目
月曜日		計算機システム II (01) 榎田 修一 情報科目 2.0単位 必修 2102講義室	解析 II (01) 坂本 比呂志 自然科学 2.0単位 必修 2102講義室	数字演習 I A (01) 瀬部 昇 自然科学 1.0単位 選択必修 1203講義室	教職論 (01) 橋本 嘉一 教職(専)科目 2.0単位 査定外 (2/3) 1202講義室
火曜日	英語 IV (16) 豊島 孝之 言語系英語 1.0単位 必修 (1/2) 1101講義室	基礎物理学 II (01) 安田 隆 自然科学 2.0単位 必修 2101講義室	情報工学基礎実験 I (01) 堀尾 重一 自然科学 1.0単位 必修	情報工学基礎実験 I (01) 堀尾 重一 自然科学 1.0単位 必修	オートマトンと言語理論 (01) 石坂 裕隆 情報科目 2.0単位 必修 2201講義室
水曜日	英語 IV (01) 中山 奈美 言語系英語 1.0単位 必修 (2/3) 1403講義室	論理回路 (01) 吉田 隆一 情報科目 2.0単位 必修 2101講義室	法学入門 II (01) 佐藤 道樹 人文社会入門 2.0単位 選択必修 (4/4) 1304講義室		
木曜日	英語 I (19) クネディ ブライアン 言語系英語 1.0単位 必修 (2/3) 1303講義室	音楽と文化 II (ドイツ) (02) 山下 智雄 言語系語学 1.0単位 選択必修 (3/5) 1101講義室	データ構造とアルゴリズム (01) 中村 貞香 情報科目 2.0単位 必修 AV講義室	データ構造とアルゴリズム (01) 中村 貞香 情報科目 2.0単位 必修 AV講義室	英語 II (20) 後藤 万里子 言語系英語 1.0単位 必修 (1/3) 1303講義室
金曜日			英語 III (01) ランバート クレイグ 言語系英語 1.0単位 必修 (3/3) 1302講義室	健康・スポーツ科学論演習 (01) 平木 浩二 健康科学 1.0単位 必修	線形代数 II (01) 藤原 英徳 自然科学 2.0単位 必修 2101講義室

背景色: Wheat: 修得科目 LightCyan: 認定科目 Lavender: 履修登録 SeaGreen: 仮履修登録 (仮履修登録および仮登録科目の取消しは1科目ずつ行って下さい)

- (2) 履修登録期間と履修登録修正期間があり、学生はその期間中しか履修申告を行うことができません（集中講義形式の授業科目は除く）。履修登録期間等の日程は、教務係前ロビーの掲示板にて周知しますので、必ず期間中にその登録が正しく入力されていることを確認してください。

※ 集中講義形式の授業科目は、日程が決まり次第、別途、履修登録期間を設けることがありますので、その期間中に履修申告を行うことができます。その場合は、システム上ではなく、教務係に「履修申告カード」を提出することになります。

## ウ 試験結果の通知について

- (1) 各授業科目の試験結果（合否及び得点）は、「教務情報」ツールの「成績表」画面に表示されます。
- (2) 試験の得点が「履修登録」画面の備考に「仮」と表示されている場合には、試験の得点は確定されていません。いつまでも仮のまま表示されている時は、授業担当教員に問い合わせてください。

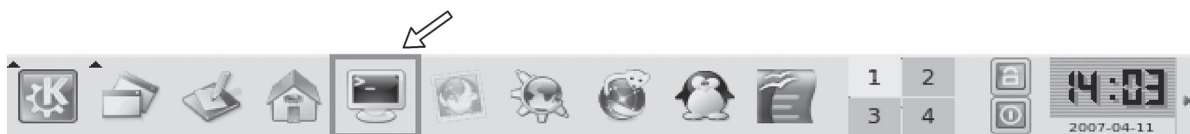
## エ 教務情報システムに係る問い合わせについて

- (1) 教務情報システムと専用端末の管理場所が異なるため、問い合わせ先は以下のようになります。

・教務情報システムに関すること	……………	教務係
・専用端末のログインに関すること	……………	情報科学センター
・専用端末のシステム異常等に関すること	………	情報基盤室

## 教務情報システムへのログインまでの流れについて

- ① 専用端末にログイン後、画面下部のパネル上にあるコンソールアイコンをクリックします。



※ 専用端末にログインするには、情報科学センターからIDとパスワードを入手する必要があります。入学時は、1年生は「プログラミング」の授業で、3年次編入生は情報科学センターの「プログラム相談室」で入手します。



- ② コンソール画面で、「kyomu」を入力し、Enter キーを押します。



- ③ 教務情報システムのログイン画面で、学生番号とパスワードを入力し、OK ボタンをクリックします。



※ 教務情報システムにログインするには、教務係からパスワードを入手する必要があります。入学時は、1年生は「プログラミング」の授業で、3年次編入生は学生証交付時に入手します。

以上

### \* 注意事項

#### 不正アクセスについて

他人のパスワードを本人に無断で用いて計算機システムへアクセスすると、たとえ何の被害を及ぼさなくても、「不正アクセス」となり、「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」による処罰の対象となります。

教務情報システムや情報科学センターの計算機システムなどの学内システムにおける不正アクセスも処罰の対象となります。

「不正アクセス」はもちろんのことですが、それを助長するような行為も慎まなければなりません。

皆さんは、情報のエキスパートを目指す人達なので、計算機システムやネットワーク利用に関しては一般の人より厳しい倫理意識を持つことが求められています。



## 4. 各種の資格等について

### ●技術士（技術士法）

情報工学部卒業生は、技術士試験の第1次試験が免除される。卒業後は、文部科学省令に定める業務に従事し、その従事した期間が同省令に定める期間を超えることにより、第2次試験を受けることができる。

### ●1級技術検定（建設業法）

#### 知能情報工学科

知能情報工学科卒業生で、1級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

#### 電子情報工学科

電子情報工学科卒業生で、1級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

#### システム創成情報工学科

システム創成情報工学科卒業生で、1級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

#### 機械情報工学科

機械情報工学科卒業生で、1級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

### ●2級技術検定（建設業法）

#### 知能情報工学科

知能情報工学科卒業生で、2級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、1年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

ただし、検定種目が建設機械施工であるときは、受験しようとする種別に関する6月以上の実務経験を含む1年以上の実務経験を経た後、受験資格を取得できる。

#### 電子情報工学科

電子情報工学科卒業生で、2級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、1年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

ただし、検定種目が建設機械施工であるときは、受験しようとする種別に関する6月以上の実務経験を含む1年以上の実務経験を経た後、受験資格を取得できる。

#### システム創成情報工学科

システム創成情報工学科卒業生で、2級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、1年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

ただし、検定種目が建設機械施工であるときは、受験しようとする種別に関する6月以上の実務経験を含む1年以上の実務経験を経た後、受験資格を取得できる。

#### 機械情報工学科

機械情報工学科卒業生で、2級技術検定の電気工学に関する学科となっている検定種目に関し、1年以上の実務経験を経た者は受験資格を取得できる。

ただし、検定種目が建設機械施工であるときは、受験しようとする種別に関する6月以上の実務経験を含む1年以上の実務経験を経た後、受験資格を取得できる。

### ●電気通信主任技術者（電気通信事業法）

電子情報工学科卒業生で、在学中に所定の科目及び時間数を修得した者は、電気通信主任技術者試験を受験する際に、試験の一部が免除される。（別表1-1を参照）

## 別表 1 - 1

### 電気通信主任技術者

電気通信主任技術者試験の一部免除を希望する学生が修得すべき授業科目

### 電子情報工学科

#### (1) 基礎専門教育科目

認定基準		授 業 科 目 (○印は必修科目)	授業時間数 (単 位)	備 考
告 示 科 目	時 間 数			
数 学	60	○離散数学	30 (2)	左のうちから2科目以上を履修
		○線形代数Ⅰ	30 (2)	
		○線形代数Ⅱ	30 (2)	
		○解析Ⅰ	30 (2)	
		○解析Ⅱ	30 (2)	
		微分方程式	30 (2)	
		確率・統計	30 (2)	
		○応用数学	30 (2)	
		○応用解析学	30 (2)	
物 理 学	60	現代物理学Ⅰ	30 (2)	左のうちから2科目以上を履修
		電子物理	30 (2)	
		○基礎物理学Ⅰ	30 (2)	
		○基礎物理学Ⅱ E	30 (2)	
電 磁 気 学	60	○電磁気学Ⅰ・同演習	60 (2)	左のうちから60時間以上の授業科目を履修
		電磁気学Ⅱ	30 (2)	
電 気 回 路	60	○電気回路E	30 (2)	左の2科目を履修
		回路とシステム	30 (2)	
電 子 回 路	60	○電子回路Ⅰ E	30 (2)	左の2科目を履修
		半導体工学	30 (2)	
デ ジ タ ル 回 路	30	論理設計	30 (2)	左のうちから1科目以上を履修
		計算機アーキテクチャE	30 (2)	
		デジタルシステム設計	30 (2)	
情 報 工 学	30	○プログラミング	60 (2)	左のうちから1科目以上を履修
		○プログラム設計	60 (2)	
		○計算機システムⅠ	30 (2)	
		○計算機システムⅡ	30 (2)	
		情報理論E	30 (2)	
電 気 計 測	60	○情報工学基礎実験Ⅰ	60 (2)	左のうちから2科目以上を履修
		○情報工学基礎実験Ⅱ E	45 (1)	
		○電子情報工学実験Ⅰ	45 (1)	

## (2) 専門教育科目

認定基準		授 業 科 目 (○印は必修科目)	授業時間数 (単 位)	備 考
告示科目	時 間 数			
伝 送 線 路 工 学	30	L S I 設計 通信理論	30 (2) 30 (2)	左のうちから1科目以上を履修
交 換 工 学	30	デジタル信号処理 通信機器 ネットワークアーキテクチャ	30 (2) 30 (2) 30 (2)	左のうちから1科目以上を履修
電気通信システム	30	○計算機通信基礎	30 (2)	左の科目を履修



## 5. 九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府学期末試験要項

平成 21 年 6 月 24 日  
情報工学部長 裁定  
大学院情報工学府長 裁定  
最終改正 平成 25 年 4 月 1 日

### 目次

- 第 1 章 総則（第 1 条・第 2 条）
- 第 2 章 大学と学生に関する事項（第 3 条－第 6 条）
- 第 3 章 大学、学生及び教員等に関する事項（第 7 条）
- 第 4 章 大学と教員等に関する事項（第 8 条－第 11 条）
- 第 5 章 雑則（第 12 条）

### 附則

#### 第 1 章 総則

##### （目的）

第 1 条 この要項は、九州工業大学情報工学部学修細則（平成 8 年九工大細則第 8 号。以下「学部学修細則」という。）及び九州工業大学大学院情報工学府学修細則（平成 3 年九工大細則第 5 号。以下「大学院学修細則」という。）に定めるもののほか、九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府の学期末における試験（以下「学期末試験」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

##### （学期末試験の実施）

- 第 2 条 学期末試験は、当該授業科目の成績評価を行う唯一又は最後に行う試験とし、筆記試験によるもののほか、レポート提出、口述試験、実技試験、作品提出等（以下「レポート提出等」という。）により実施するものとする。
- 2 学期末試験は、当該授業科目が実施される学期末に設ける試験期間（以下「試験期間」という。）に行うものとする。ただし、集中講義又はそれに準ずる形態で実施される授業科目を除く。
- 3 前項の規定にかかわらず、レポート提出等又は試験期間中に実施しないことに相当の理由がある授業科目の筆記試験は、講義（演習等を含む。）が規定回数行われた後、試験期間に当たらない日に学期末試験を実施することができるものとする。この場合、第 5 条第 2 項に規定する方法により、原則として、2 週間前までに履修登録者に周知するものとする。

#### 第 2 章 大学と学生に関する事項

##### （学期末試験の受験資格）

- 第 3 条 学期末試験を受験する資格がある者は、当該授業科目の履修登録者とする。ただし、次の各号の一に該当する者は、受験資格がないものとする。
- (1) 休学中又は停学中の者
  - (2) 学部学修細則第 13 条第 2 項又は大学院学修細則第 7 条第 3 項に定める時間数出席していない者
- 2 前項の規定にかかわらず、当該授業を担当する教員（以下「授業担当教員」という。）等の判断により、履修登録者以外にも受験を許可することがある。

(試験時間)

第4条 試験時間は、原則として90分とし、必要な場合には別に授業担当教員が定めるものとする。

- 2 障害を有する者で、受験に支障があると認められる場合には、試験時間を1.5倍にすることができるものとする。
- 3 前項に定めるもののほか、障害を有する者の試験時間、試験実施等については、必要な場合にはその都度、当該学生、当該学生の所属する学科又は専門分野の教務委員会委員又は大学院委員会委員、事務部等が協議し決定するものとする。

(学期末試験の周知)

第5条 試験期間中に行われる学期末試験は、原則として、試験期間開始の2週間前までに時間割を掲示することにより周知するものとする。ただし、時間割は、試験当日まで変更する場合があるものとする。

- 2 レポート提出等及び試験期間中に実施されない学期末試験の場合は、授業担当教員の授業中の口頭による周知、又はその他の方法により周知するものとする。

(試験実施上の注意事項)

第6条 受験者は、試験室では監督者の指示に従うほか、次の注意事項を守らなければならない。

- (1) 試験中学生証を机上に提示すること。
  - (2) 学生証を忘れた場合には、試験が開始される前までに、事務部において証明書の発行を受けること。
  - (3) 授業科目により座席の指定がある場合には、その指示に従うこと。
  - (4) 許可された物品以外は、机上に置かないこと。
  - (5) 試験中は、携帯電話・PHS等の電源を必ず切り、使用しないこと。
  - (6) 試験室への入室は、試験開始後30分までとし、遅刻してきた場合の試験時間の延長は認めない。ただし、監督者等の指示がある場合には、この限りではない。
  - (7) 試験中の退室は、試験開始から30分経過後までは認められず、一旦退室した者の再入室は認めない。ただし、監督者等の指示がある場合には、この限りではない。退室した場合は、静粛かつ速やかに試験室から離れること。
- 2 学生証を忘れ、証明書の発行を受けていない者に受験を認めた場合には、監督者等は、試験終了後その者を事務部に引率し、本人確認を行うものとする。

### 第3章 大学、学生及び教員等に関する事項

(追試験)

第7条 病気、事故、忌引き、その他教務委員会又は大学院委員会が認めた理由により試験を受験できなかった者は、試験終了後1週間以内(入院等の特別な理由がある期間を除く。)に、受験できなかった理由が証明できる書類を添付のうえ、追試験の実施を情報工学部長又は大学院情報工学府長に申出することができるものとする。

- 2 授業担当教員は、前項の規定による申出がなされ受理された者について、追試験等の必要な措置を講ずるものとする。
- 3 第1項に規定した理由にかかわらず、授業担当教員の判断により追試験等を行うことができるものとする。
- 4 追試験に関する事項は、別に定める。

## 第4章 以降掲載省略

附則(最終改正分)

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

## 6. 九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府学期末試験要項(追試験)に係る運用について

九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府学期末試験要項(平成23年12月20日情報工学部長及び大学院情報工学府長裁定。以下「要項」という。)第7条第4項の規定に基づき、追試験に係る運用について、下記のとおり定めるものとする。

### 記

#### 1. 申出が受理できる理由及び提出書類について

- (1) 要項第7条第1項に規定する「病気」とは、入院した場合(退院後の自宅療養期間を含む。)又は学校保健安全法(昭和33年法律第56号)に規定する感染症(\*)の治療が必要となった場合とする。

・提出書類

医師又は医療機関が発行する診断書、入院期間が確認できる病院の領収書等

\* 学校保健安全法に規定する感染症とは、インフルエンザ、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風疹、水痘(みずぼうそう)、咽頭結膜熱(プール病)、結核、腸管出血性大腸菌感染症、流行性角結膜炎(アポロ病)、急性出血性結膜炎等が該当する。

- (2) 要項第7条第1項に規定する「事故」とは、学期末試験当日、事故にあった場合又は非常変災等により交通機関が遮断した場合とする。ただし、大学が休講措置をとった場合には、申出は不要とする。

・提出書類

警察が発行する事故証明書、公共交通機関が発行する不通証明書又は遅延証明書等

- (3) 要項第7条第1項に規定する「忌引き」とは、3親等内の親族が死亡し、葬儀、服喪その他の親族の死亡に伴い必要と認められる行事に出席する場合とする。

・提出書類

葬儀日を確認できる会葬御礼、公的機関が発行する死亡日を確認できる書類等

- (4) その他、病気、事故又は忌引きに準ずるやむを得ない理由により、教務委員会又は大学院委員会が承認した場合とする。

・提出書類

理由書(様式任意)の他、情報工学部長又は大学院情報工学府長が指示する書類

以下掲載省略

## 7. 九州工業大学情報工学部における早期卒業取扱要項

〔平成12年10月25日〕  
制 定

最終改正 平成25年4月1日

(目的)

第1 この要項は、情報工学部に在学する学生が、九州工業大学学則（平成19年九工大学則第1号。以下「学則」という。）第30条ただし書き及び九州工業大学情報工学部学修細則（平成8年九工大細則第8号。以下「学修細則」という。）第7条第3項に基づき、情報工学部における早期卒業の取扱いに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(早期卒業)

第2 情報工学部に3年以上4年未満在学（休学及び停学した期間を除く。）した学生が、卒業の要件として修得すべき単位を修得し、かつ、当該単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は、早期卒業をすることができる。

(適用除外)

第3 学則第21条から第24条までの規定により編入学、再入学、転入学及び移籍した者は、早期卒業の対象とならない。

(早期卒業申請の手続き)

第4 早期卒業を希望する学生は、2年次の3月末日までに、別記様式1の早期卒業申請書を情報工学部長に提出するものとする。

(早期卒業における優秀な成績)

第5 早期卒業を行う学生は、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 2年次終了時に卒業要件に加算される単位（学修細則第20条及び第21条に規定する単位認定されたものを含む。以下同じ。）を80単位以上修得し、かつ、学修細則第22条に規定するGPAが3.5以上の者
- (2) 3年次前期終了時に卒業要件に加算される単位を104単位以上修得し、かつ、GPAが3.5以上の者
- (3) 3年次終了時に卒業要件単位を満たしており、かつ、GPAが3.5以上の者

(早期卒業の審査)

第6 早期卒業の審査は、教務委員会の議を経て、教授会で行う。

(卒業研究等)

第7 早期卒業を行う学生の卒業研究については、次のとおりとする。

- (1) 3年次前期終了時に、教務委員会で適格の認定を受けた学生は、3年次後期に特別卒業研究を履修させる。
- (2) 卒業研究については、免除する。

附 則（最終改正分）

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

## 早 期 卒 業 申 請 書

年 月 日

九州工業大学情報工学部長 殿

学 科	工学科	年次
学生番号		
本人(氏名)		⑩
現住所		
保証人(氏名)		⑩
保証人住所		

早期卒業を希望いたしますので、九州工業大学情報工学部における早期卒業取扱要項第4の規定により申請いたします。

## 8. 九州工業大学情報工学部の移籍に関する取扱要項

〔平成19年12月17日〕  
情報工学部長裁定

最終改正 平成25年4月1日

(目的)

第1条 この要項は、本学に在学する学生が、九州工業大学学則（平成19年九工大学則第1号）第24条の規定に基づき、工学部から情報工学部への移籍（以下「転学部」という。）及び情報工学部における学科間の移籍（以下「転学科」という。）をする際の取扱いに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(転学部の申請手続き)

第2条 転学部の申請手続きは、次のとおりとする。

- (1) 転学部を希望する学生（以下「転学部希望学生」という。）の申請受付期間は、転学部を希望する前年の12月16日から12月末日までとし、別記様式1による申請書に成績証明書を添えて、工学部長に提出する。
- (2) 工学部長は、転学部希望学生の転学部について差し支えない場合は、別記様式2による書類を情報工学部長に1月末日までに提出する。

(転学科の申請手続き)

第3条 転学科を希望する学生の申請受付期間は、転学科を希望する年の1月16日から1月末日までとし、別記様式3による申請書を情報工学部長に提出する。

(転学部等申請の資格)

第4条 転学部及び転学科（以下「転学部等」という。）の申請者は、次の要件を満たしていなければならない。

- (1) 転学部等を希望する理由に妥当性があること。
- (2) 年度末に在学期間（休学及び停学した期間を除く。）が2年以上あること。
- (3) 過去に転学部等を行っていないこと。
- (4) 九州工業大学情報工学部学修細則（平成8年九工大細則第8号）第8条第1項に規定する単位数を修得していること。

(転学部等学生の受入れ要件)

第5条 転学部等の受入れ要件は、次のとおりとする。

- (1) 転学部等を希望する場合は、3年次生に編入する。
- (2) 転学部等を許可する学生数は、3年次の受入れ学科の欠員数に、教育に支障のない範囲内で若干名（最大3名）を加えた数とする。

(選考)

第6条 選考は、転学部等を希望する学生が志望する受入れ学科において、面接を実施し審査のうえ、教務委員会で審議する。

(通知)

第7条 転学部等の判定結果は、申請のあった年度の3月31日までに工学部長（転学部の場合に限る。）及び本人へ通知する。

附 則（最終改正分）

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

# 転 学 部 願

年 月 日

九州工業大学工学部長 殿

学 科	工学科	年次
学生番号		
本人(氏名)		㊞
現住所		
保証人(氏名)		㊞
現住所		

このたび、下記理由により情報工学部へ転学部したいので、許可願います。

## 記

学科希望先

理 由

学 科 長	教務委員	指導教員

年 月 日

情 報 工 学 部 長 殿

工 学 部 長

転 学 部 に つ い て

下記学生の転学部については、差し支えありません。

記

学生番号

名前

\* 別紙、転学部願のコピー及び成績証明書を添付



# 轉 学 科 願

年    月    日

九州工業大学情報工学部長 殿

学 科	工学科	年次
学生番号		
本人(氏名)		Ⓡ
現住所		
保証人(氏名)		Ⓡ
現住所		

このたび、下記理由により転学科したいので、許可願います。

## 記

○ 転学科希望先

○ 理        由

学 科 長	教務委員	指導教員